

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	水野川第12支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県瀬戸市白岩町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工60m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道363号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 6戸 主要交通機関: 国道363号																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.2	C:総費用(億円)	1.8	B/C	3.5	B-C	4.5	EIRR (%)	13.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.9	残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.9																				
残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5																				
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.7																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家6戸及び公民館と国道363号を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

水野川第12支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	男川第7支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県岡崎市片寄町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工40m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	3.2																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による主要地方道岡崎作手清岳線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 8戸 主要交通機関: 主要地方道岡崎作手清岳線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.8	C:総費用(億円)	3.1	B/C	2.2	B-C	3.7	EIRR (%)	8.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家8戸及び公民館と主要地方道岡崎作手清岳線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

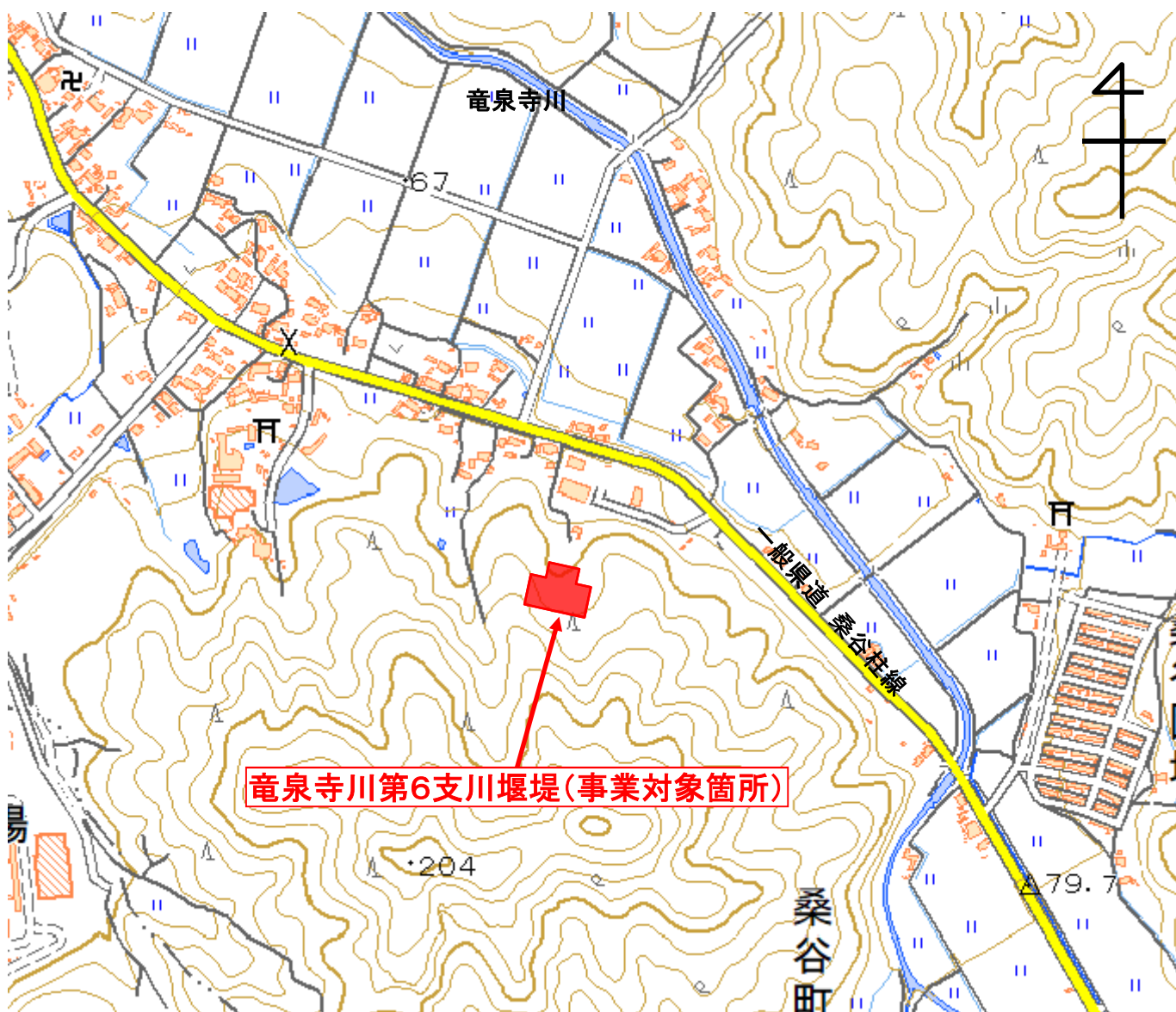
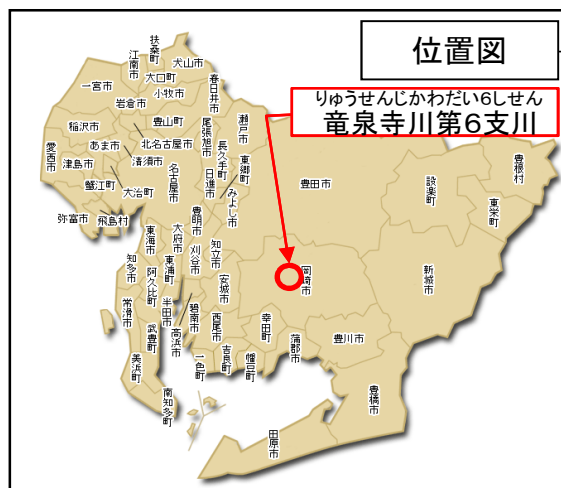
男川第7支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	竜泉寺川第6支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県岡崎市桑谷町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	2.1									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道桑谷柱線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 4戸 主要交通機関: 一般県道桑谷柱線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	8.2	C:総費用(億円)	2.2	B/C	3.7	B-C	5.9	EIRR (%)	16.7
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	3.3	~	4.1						
	残工期(+10%~-10%)	3.7	~	3.7						
	資産(-10%~+10%)	3.4	~	4.0						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家4戸及び公民館と一般県道桑谷柱線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

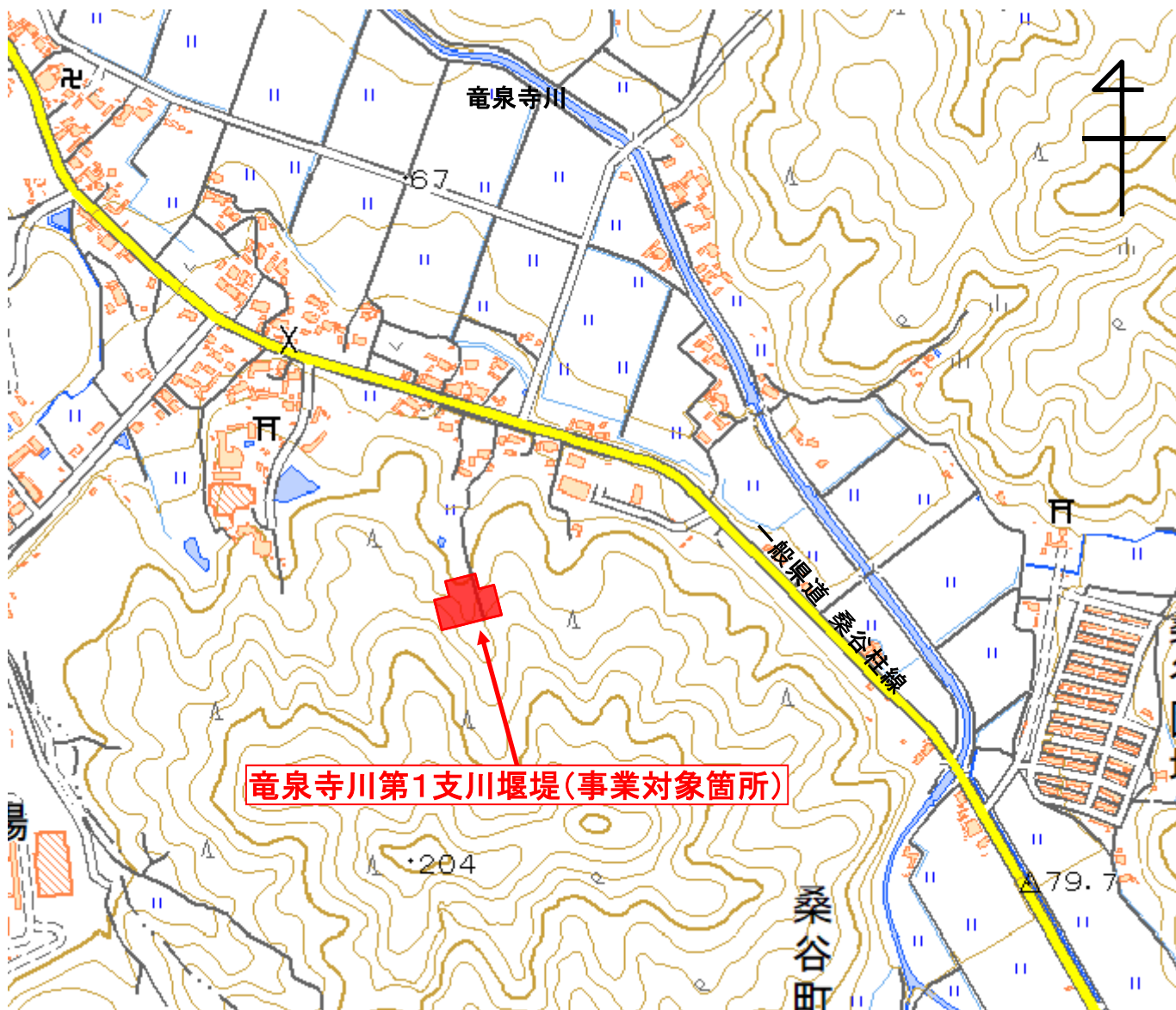
竜泉寺川第6支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	竜泉寺川第1支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																	
実施箇所	愛知県岡崎市桑谷町地内																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工124m																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2.3																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道桑谷柱線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	世帯数: 10戸 主要交通機関: 一般県道桑谷柱線																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	7.9	C:総費用(億円)	2.1	B/C	3.7	B-C	5.7	EIRR (%)	13													
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 4.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.7</td> <td>~ 3.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 4.1	残工期(+10%~-10%)	3.7	~ 3.7	資産(-10%~+10%)	3.5	~ 3.9
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 4.1																					
残工期(+10%~-10%)	3.7	~ 3.7																					
資産(-10%~+10%)	3.5	~ 3.9																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家10戸及び一般県道桑谷柱線を土砂災害から保全する。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

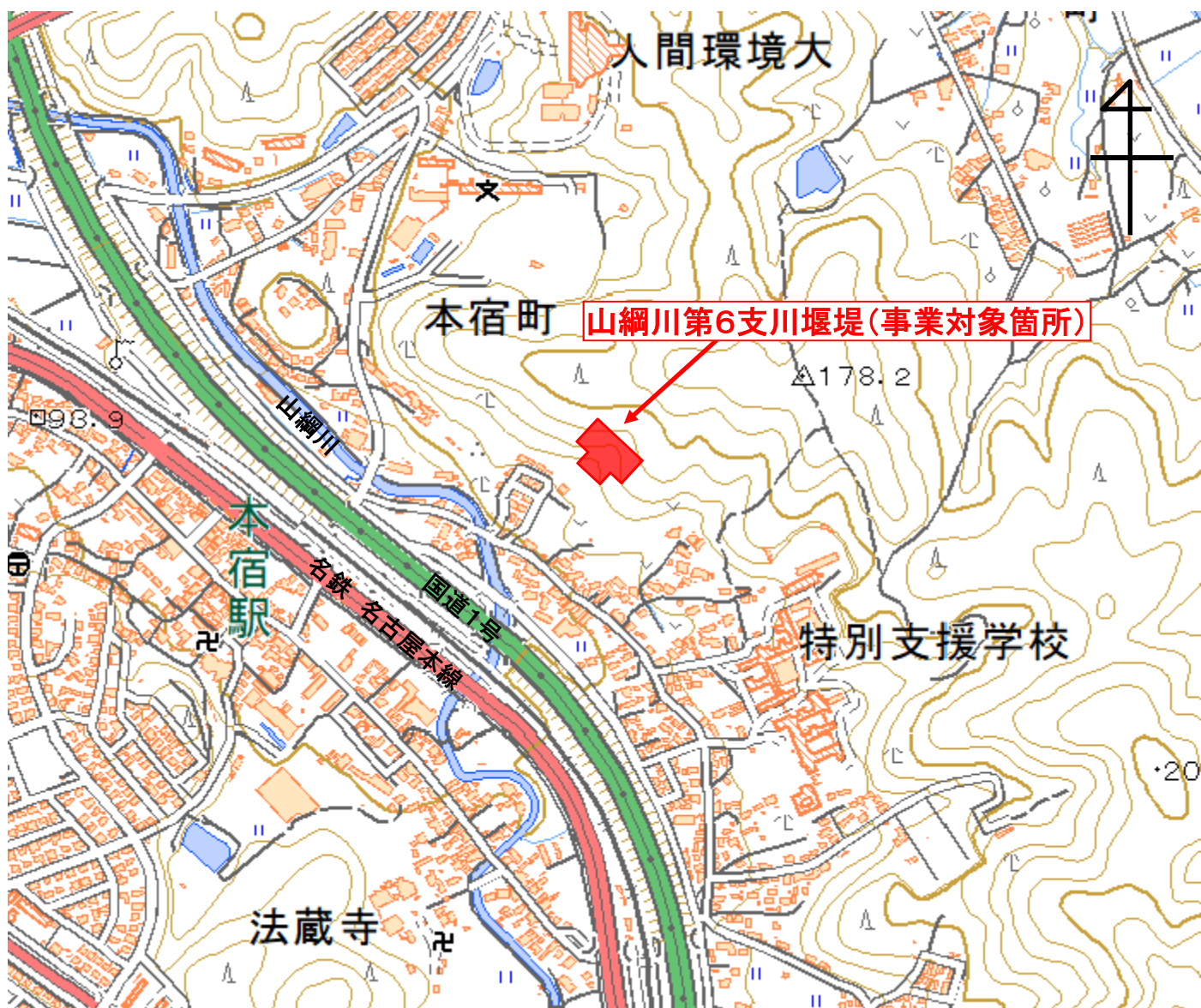
竜泉寺川第1支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	山綱川第6支川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県					
実施箇所	愛知県岡崎市藤川町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工26m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	2.3									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道1号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 39戸 主要交通機関: 国道1号									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	28	C:総費用(億円)	2.2	B/C	12.8	B-C	26	EIRR (%)	31.6
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	11.6	~	14.2						
	残工期(+10%~-10%)	12.9	~	12.8						
	資産(-10%~+10%)	12.1	~	13.6						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家39戸及び国道1号を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

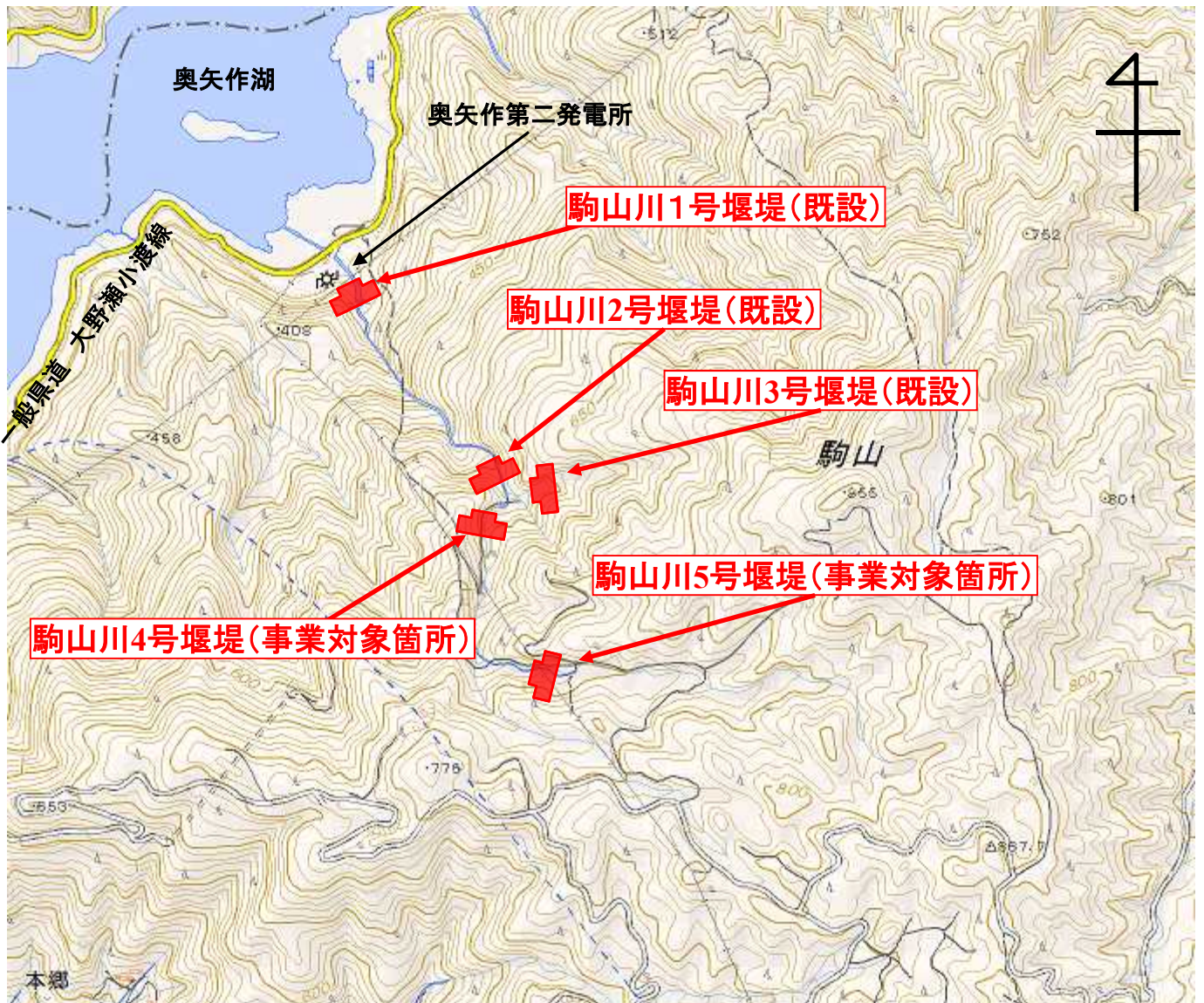
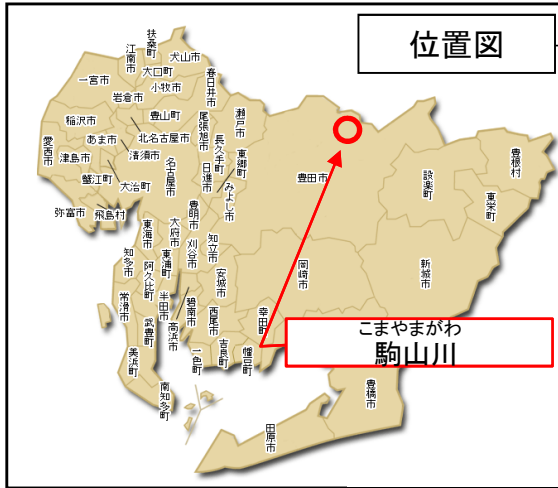
山綱川第6支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	駒山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県					
実施箇所	愛知県豊田市牛地町地内										
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤5基										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度							
総事業費 (億円)	2.2										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道大野瀬小渡線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 										
便益の主 な根拠	重要公共施設: 奥矢作第二発電所 主要交通機関: 一般県道大野瀬小渡線										
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度									
	B:総便益 (億円)	103	C:総費用(億円)		10	B/C	10.2	B-C	93	EIRR (%)	26.2
感度分析	全体事業(B/C)										
	残事業費(+10%~-10%)	9.3	~	11.3							
	残工期(+10%~-10%)	10.2	~	10.2							
	資産(-10%~+10%)	9.2	~	11.2							
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、発電所及び一般県道大野瀬小渡線を土砂災害から保全する。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた										

駒山川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	井戸川沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊田市小田木町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	3.1																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道153号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	世帯数: 5戸 主要交通機関: 国道153号																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	8.3	C:総費用(億円)	3.0	B/C	2.7	B-C	5.3	EIRR (%)	10.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0																				
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7																				
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.9																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家5戸及び国道153号を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

井戸川沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小田木川第6支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県豊田市小田木町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工60m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.8									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道笹戸小田木線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 19戸 主要交通機関: 一般県道笹戸小田木線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	2.4	B/C	6.8	B-C	14	EIRR (%)	22.6
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	6.2	~	7.6						
	残工期(+10%~-10%)	6.9	~	6.8						
	資産(-10%~+10%)	6.5	~	7.2						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家19戸及び老人憩い家(指定避難所)と一般県道笹戸小田木線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

小田木川第6支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	カ石川第7支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊田市中金町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工60m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道153号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 15戸 主要交通機関: 国道153号																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	2.6	B/C	4.0	B-C	7.6	EIRR (%)	13.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 4.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 4.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.4	残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 4.0	資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.4																				
残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 4.0																				
資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.2																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家15戸及び国道153号を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

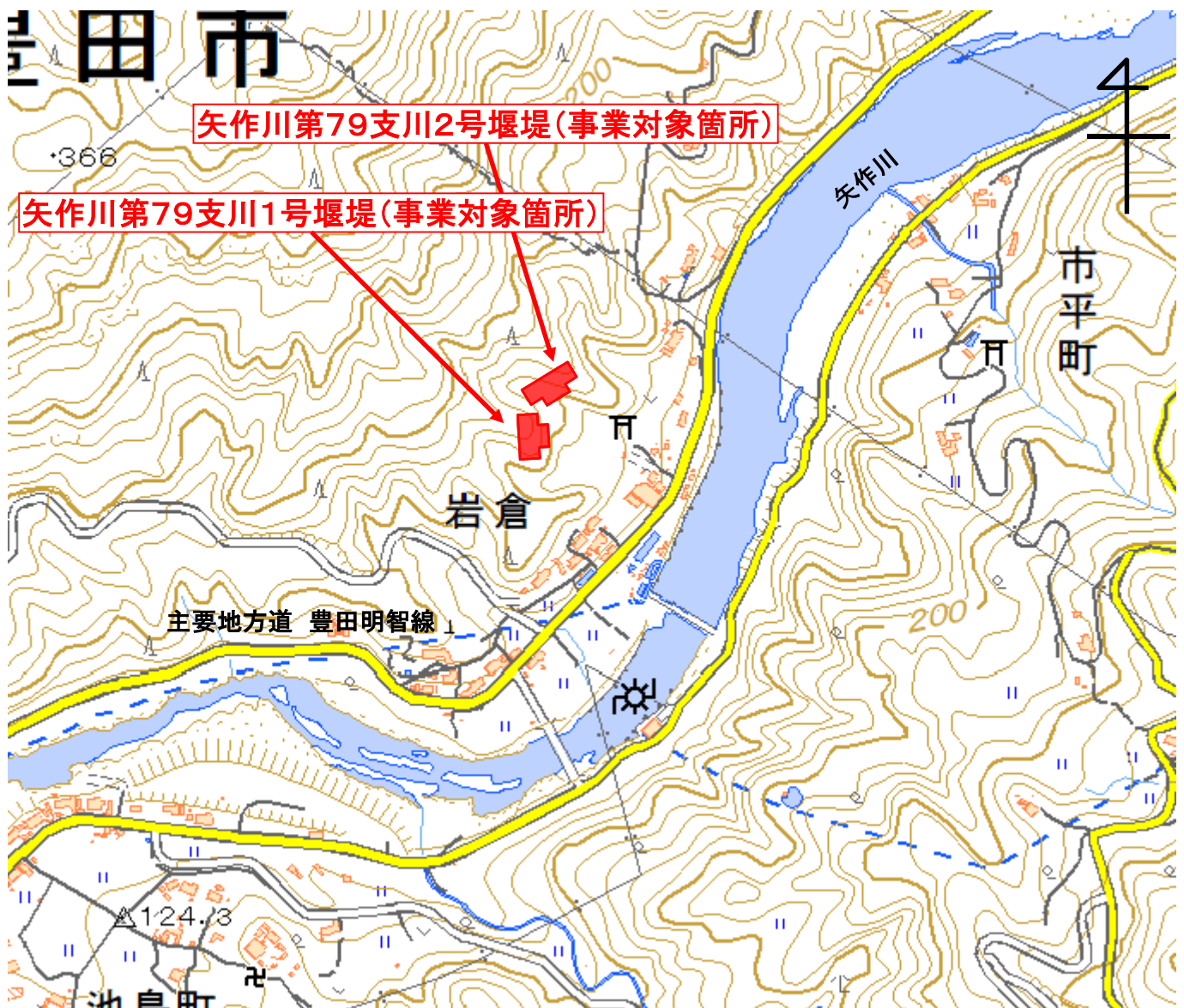
力石川第7支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	矢作川第79支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊田市築平町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工45m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による主要地方道豊田明智線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	世帯数: 6戸 主要交通機関: 主要地方道豊田明智線																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	20	C:総費用(億円)	4.7	B/C	4.2	B-C	15	EIRR (%)	14.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.2</td> <td>~ 4.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 4.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.8	~ 4.7	残工期(+10%~-10%)	4.2	~ 4.2	資産(-10%~+10%)	3.9	~ 4.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.8	~ 4.7																				
残工期(+10%~-10%)	4.2	~ 4.2																				
資産(-10%~+10%)	3.9	~ 4.6																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家6戸及び公民館、農林水産事務所(県)と主要地方道豊田明智線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

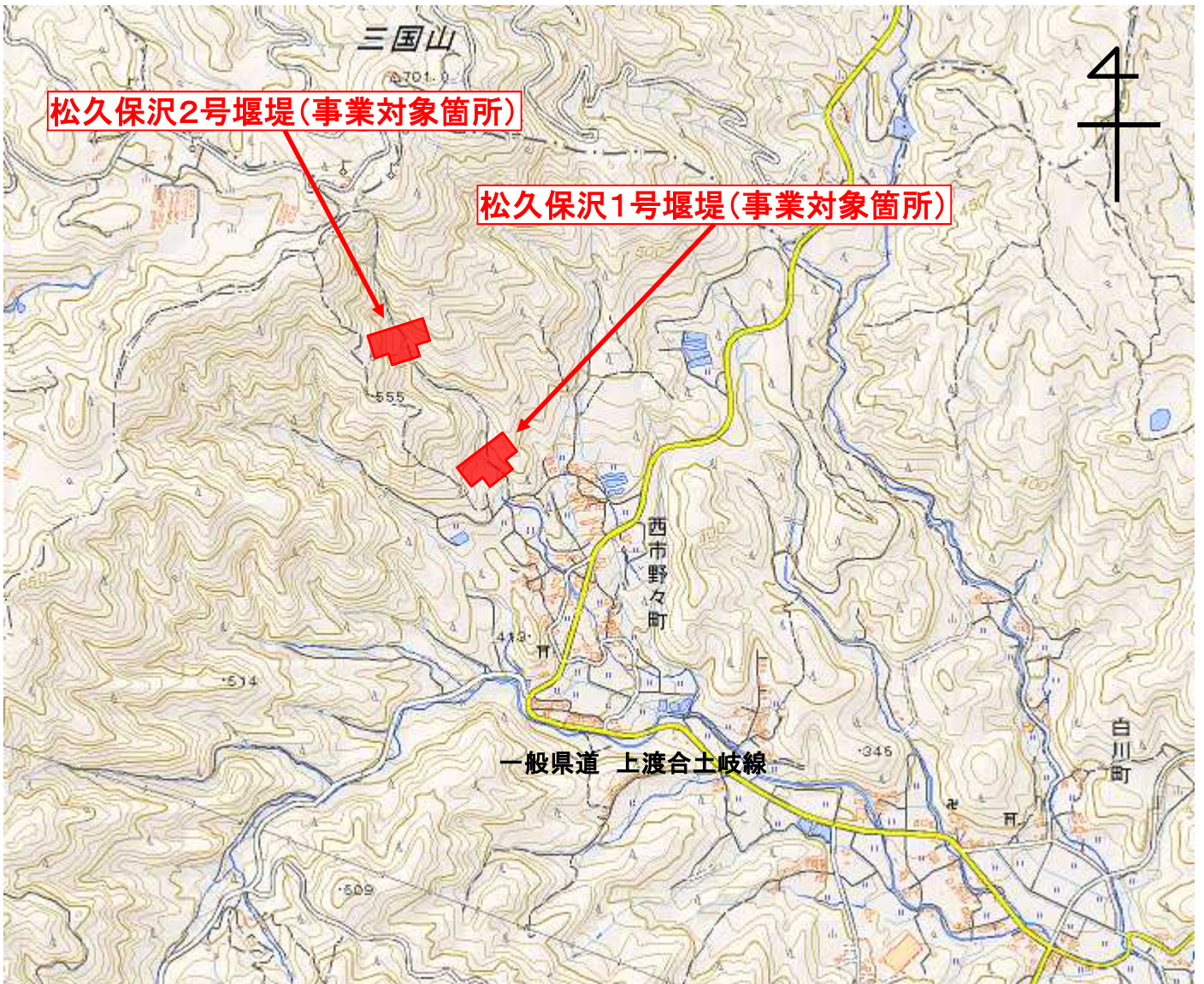
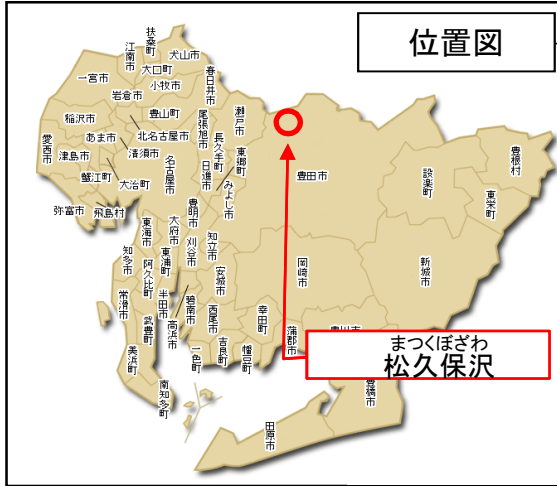
矢作川第79支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松久保沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊田市西市野々町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工60m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	4.3																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道上渡合土岐線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 18戸 主要交通機関: 一般県道上渡合土岐線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	9.7	C:総費用(億円)	4.4	B/C	2.2	B-C	5.3	EIRR (%)	8.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家18戸及び一般県道上渡合土岐線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

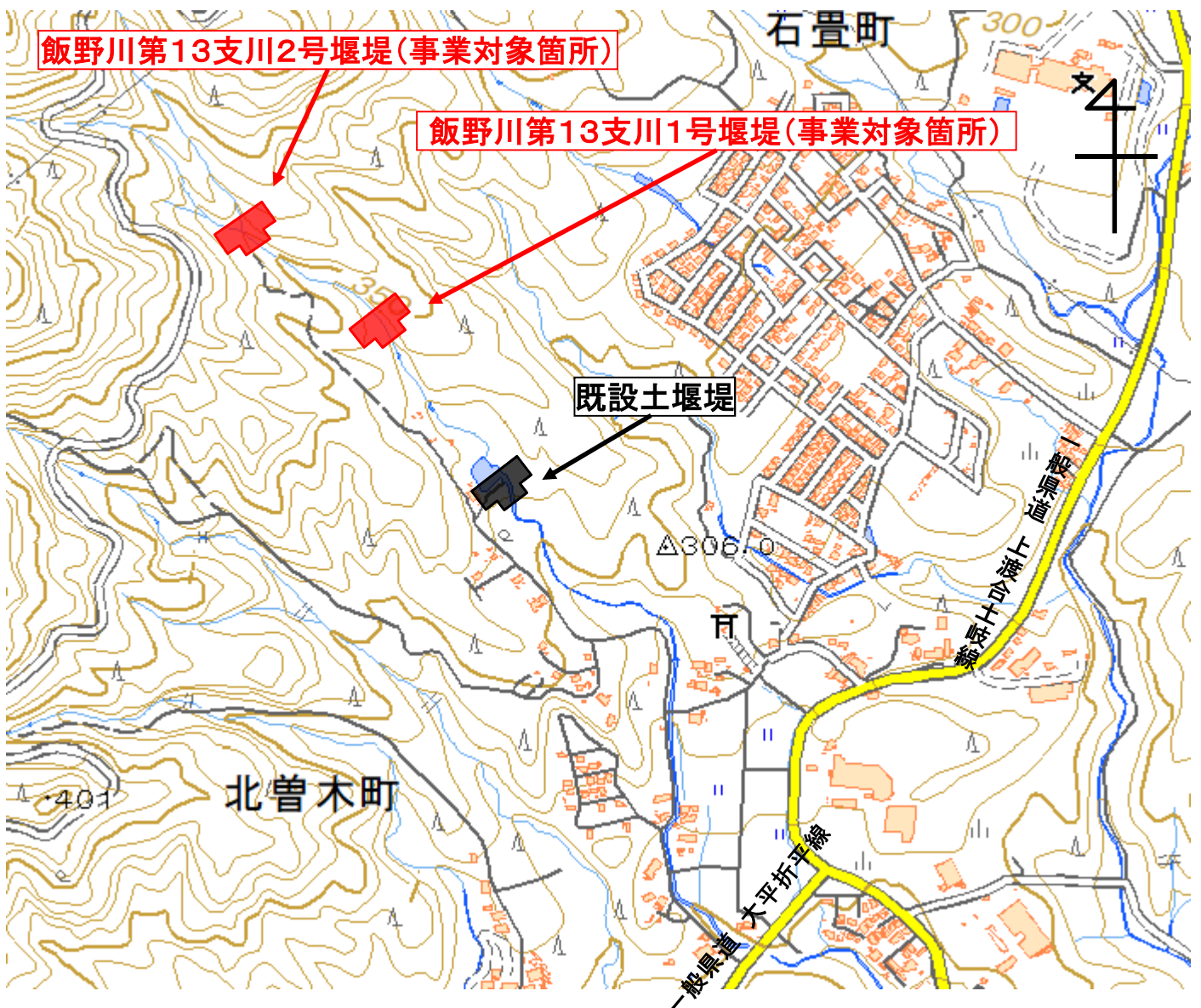
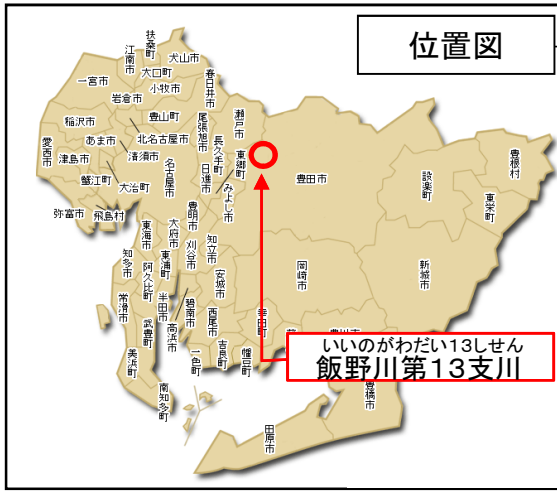
松久保沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	飯野川第13支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊田市北曾木町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工149m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	4.8																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道上渡合土岐線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 11戸 主要交通機関: 一般県道上渡合土岐線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	4.7	B/C	2.6	B-C	7.3	EIRR (%)	10.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8																				
残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6																				
資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.7																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家11戸及び一般県道上渡合土岐線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

飯野川第13支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	田津原川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県豊田市田津原町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤3基									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度						
総事業費 (億円)	2.6									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道笹戸小田木線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 6戸 主要交通機関: 一般県道笹戸小田木線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	8.3	C:総費用(億円)	7.3	B/C	1.1	B-C	1.0	EIRR (%)	4.6
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.0	~	1.3						
	残工期(+10%~-10%)	1.1	~	1.1						
	資産(-10%~+10%)	1.1	~	1.2						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家6戸及び公民館、一般県道笹戸小田木線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

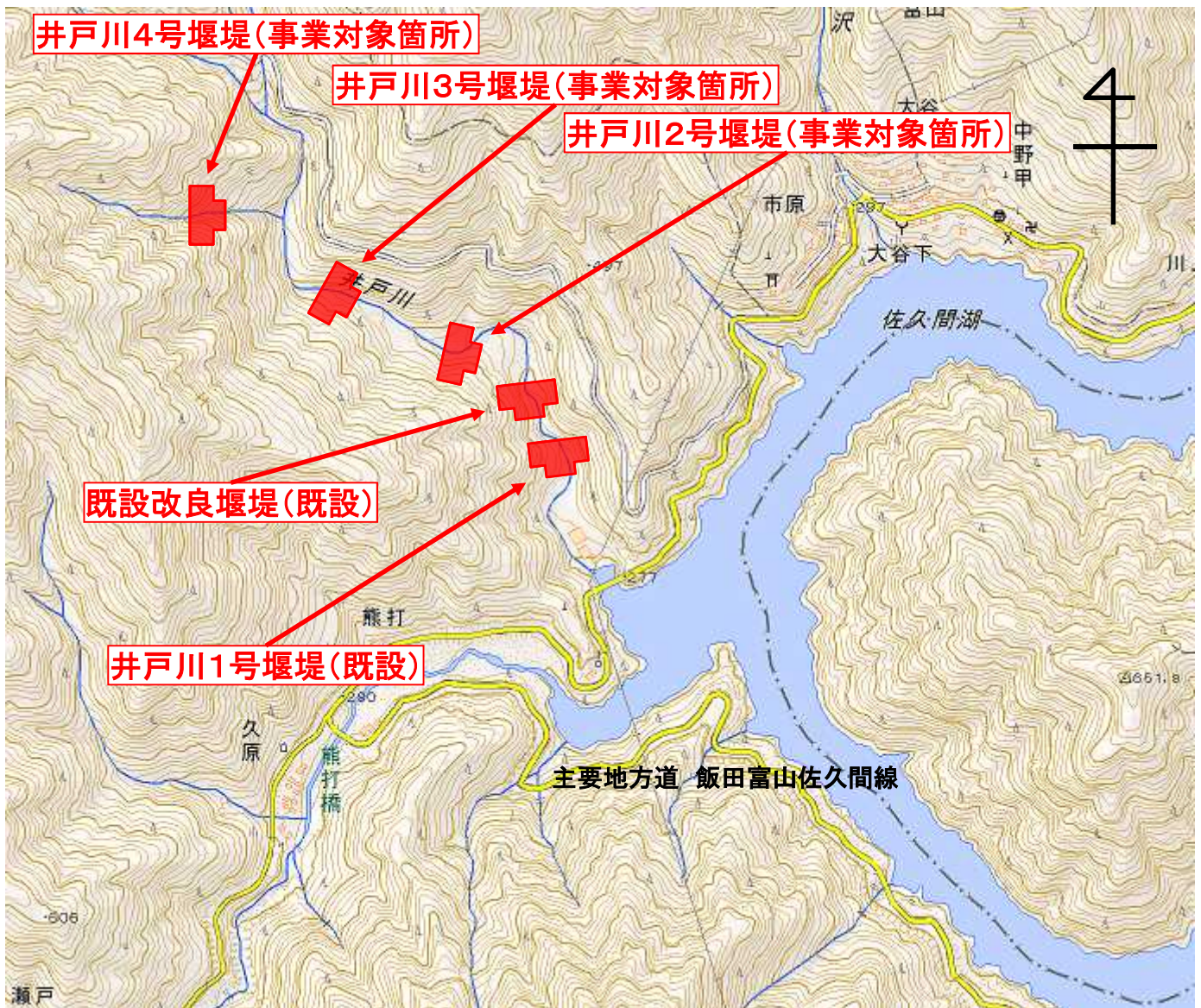
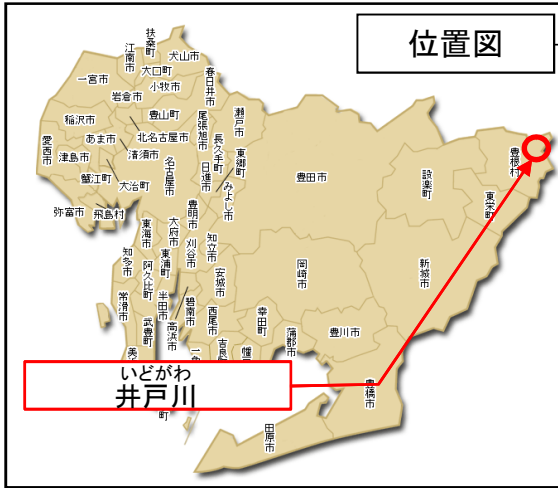
田津原川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	井戸川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県北設楽郡豊根村富山地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤5基																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.7																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による主要地方道飯田富山佐久間線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	主要交通機関: 主要地方道飯田富山佐久間線																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	18	C:総費用(億円)	8.0	B/C	2.2	B-C	10	EIRR (%)	8.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、教育文化センター森林館(指定避難所)及び主要地方道飯田富山佐久間線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

井戸川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中村沢事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県
実施箇所	愛知県北設楽郡豊根村坂宇場地内				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤4基				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度	
総事業費 (億円)	3.8				
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道151号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	世帯数: 6戸 主要交通機関: 国道151号				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	5.9	B/C 1.9 B-C 5.3 EIRR (%) 7.3
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	1.7	~	2.1	
	残工期(+10%~-10%)	1.9	~	1.9	
	資産(-10%~+10%)	1.8	~	2.0	
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家6戸及び集会所と国道151号を土砂災害から保全する。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

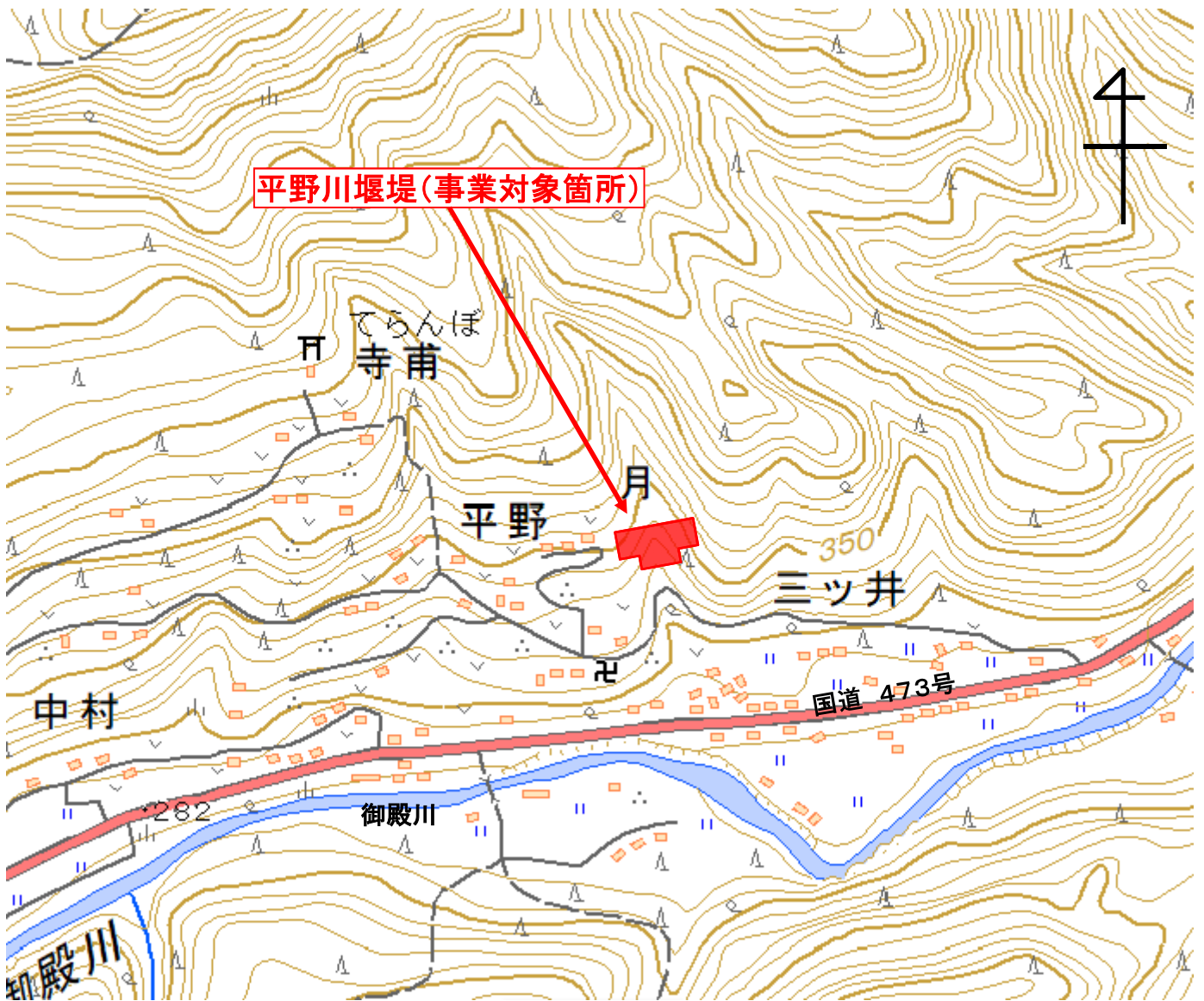
中村沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	平野川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県
実施箇所	愛知県北設楽郡東栄町大字月地内				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度	
総事業費 (億円)	1.1				
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道473号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主な 根拠	世帯数: 10戸 主要交通機関: 国道473号				
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	7.9	C:総費用(億円)	4.0	B/C 2.0 B-C 3.9 EIRR (%) 7.9
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	1.8	~	2.2	
	残工期(+10%~-10%)	2.0	~	2.0	
	資産(-10%~+10%)	1.9	~	2.1	
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家10戸及び国道473号を土砂災害から保全する。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

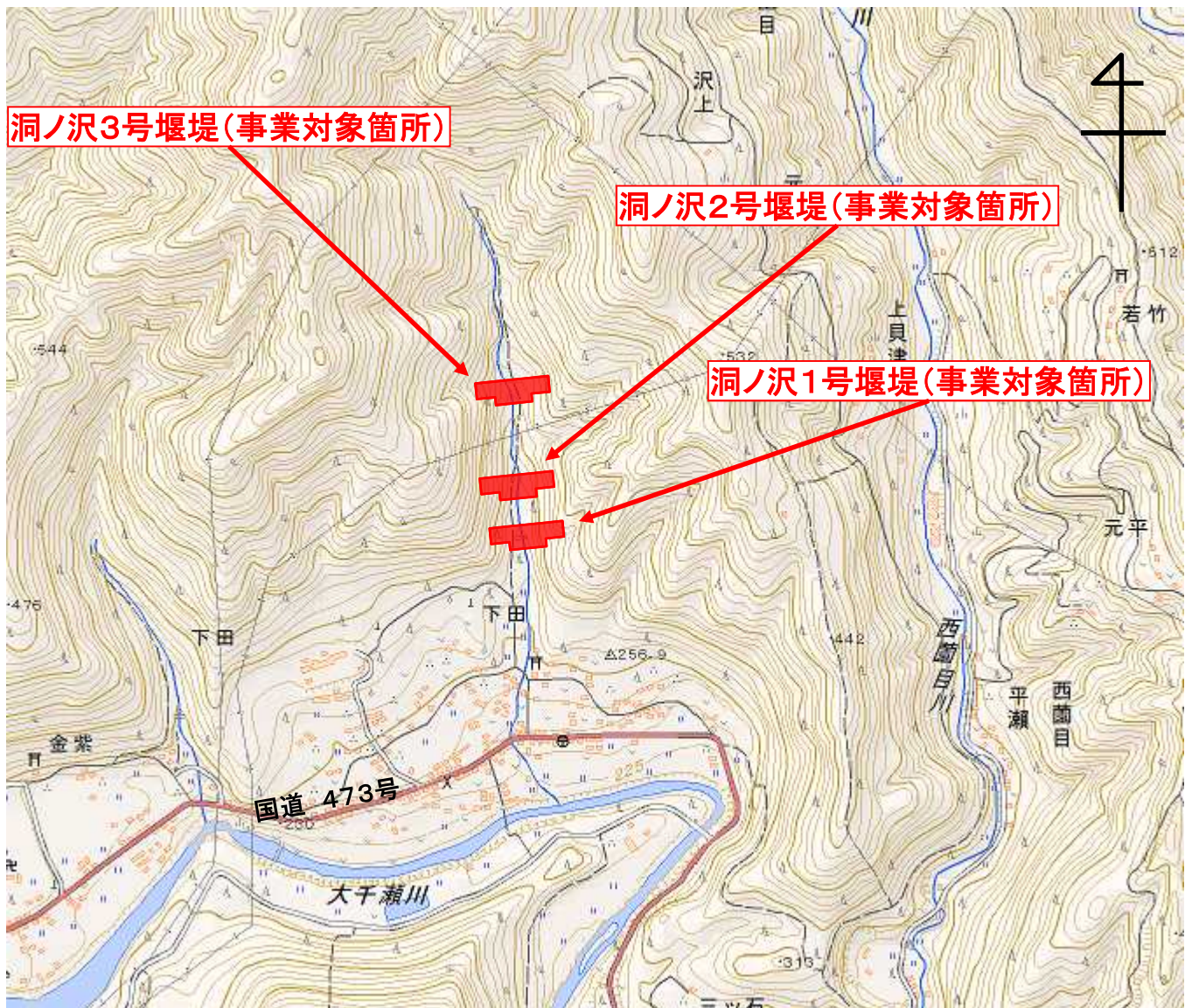
平野川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	洞ノ沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県					
実施箇所	愛知県北設楽郡東栄町大字下田地内										
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤3基、溪流保全工80m										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度							
総事業費 (億円)	7.3										
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道473号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 										
便益の主 な根拠	世帯数: 20戸 主要交通機関: 国道473号										
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度									
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	6.6	B/C	2.2	B-C	7.9	EIRR (%)	8.4	
感度分析	全体事業(B/C)										
	残事業費(+10%~-10%)	2.0	~	2.4							
	残工期(+10%~-10%)	2.2	~	2.2							
	資産(-10%~+10%)	2.1	~	2.3							
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家20戸及び郵便局と国道473号を土砂災害から保全する。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた										

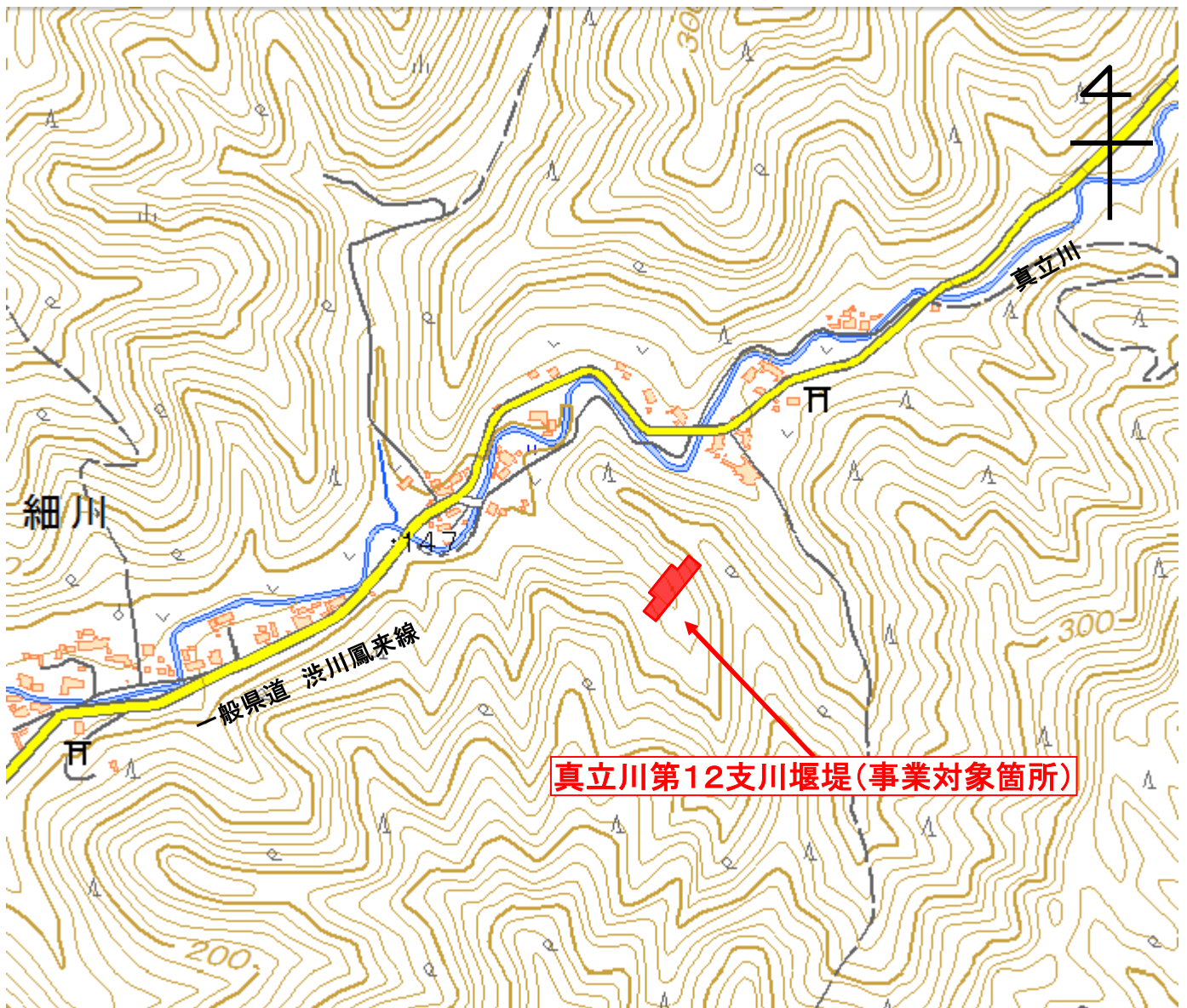
洞ノ沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	真立川第12支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県新城市細川地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工59m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	0.6									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道洪川鳳来線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 8戸 主要交通機関: 一般県道洪川鳳来線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	6.3	C:総費用(億円)	2.3	B/C	2.8	B-C	4.0	EIRR (%)	11.4
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	2.5	~	3.1						
	残工期(+10%~-10%)	2.8	~	2.8						
	資産(-10%~+10%)	2.7	~	2.9						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家8戸及び一般県道洪川鳳来線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

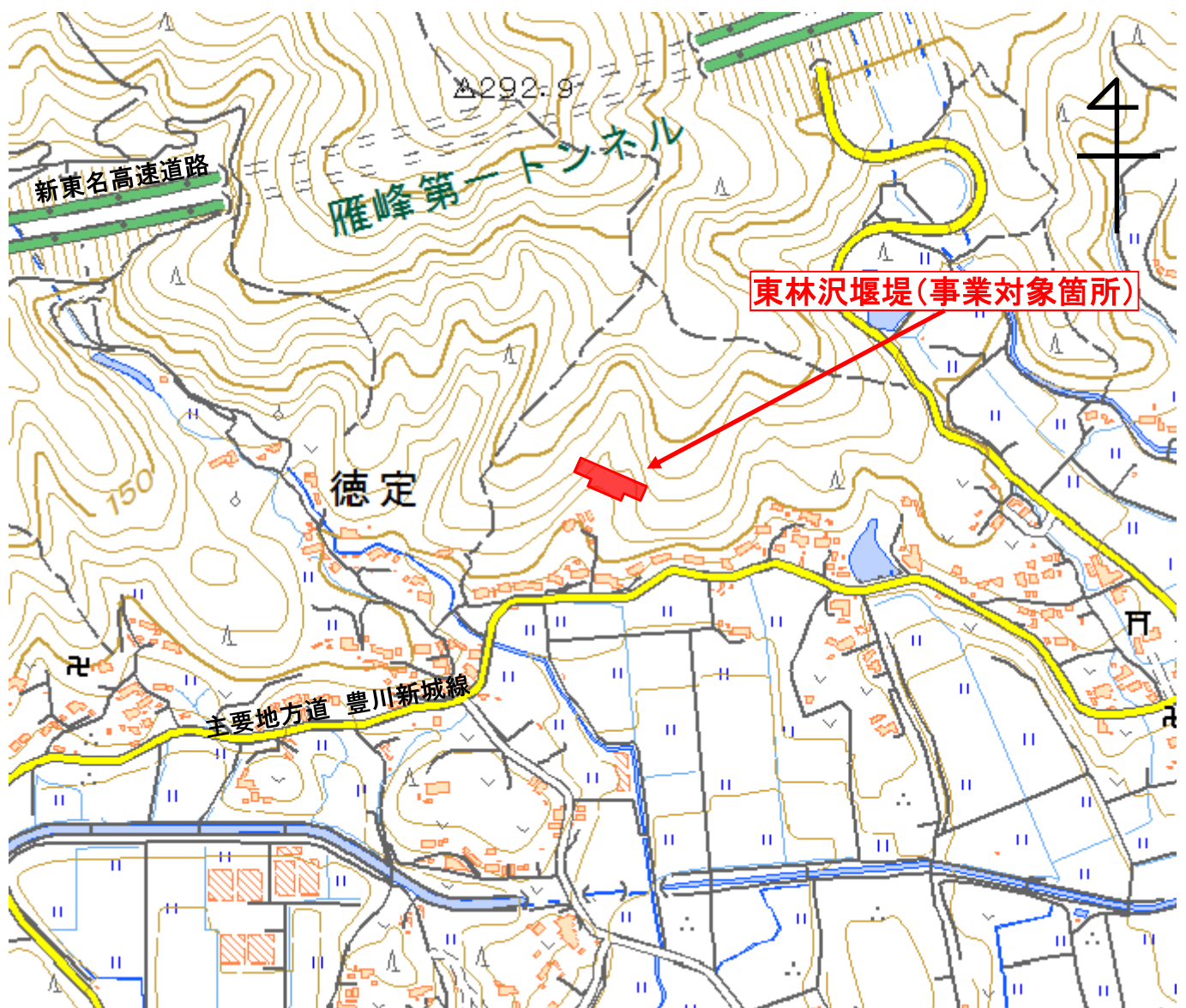
真立川第12支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	東林沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県新城市徳定地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度						
総事業費 (億円)	1.5									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による主要地方道豊川新城線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 6戸 主要交通機関: 主要地方道豊川新城線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	4.4	C:総費用(億円)	1.7	B/C	2.5	B-C	2.7	EIRR (%)	9.8
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	2.3	~	2.8						
	残工期(+10%~-10%)	2.6	~	2.5						
	資産(-10%~+10%)	2.4	~	2.7						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家6戸及び主要地方道豊川新城線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

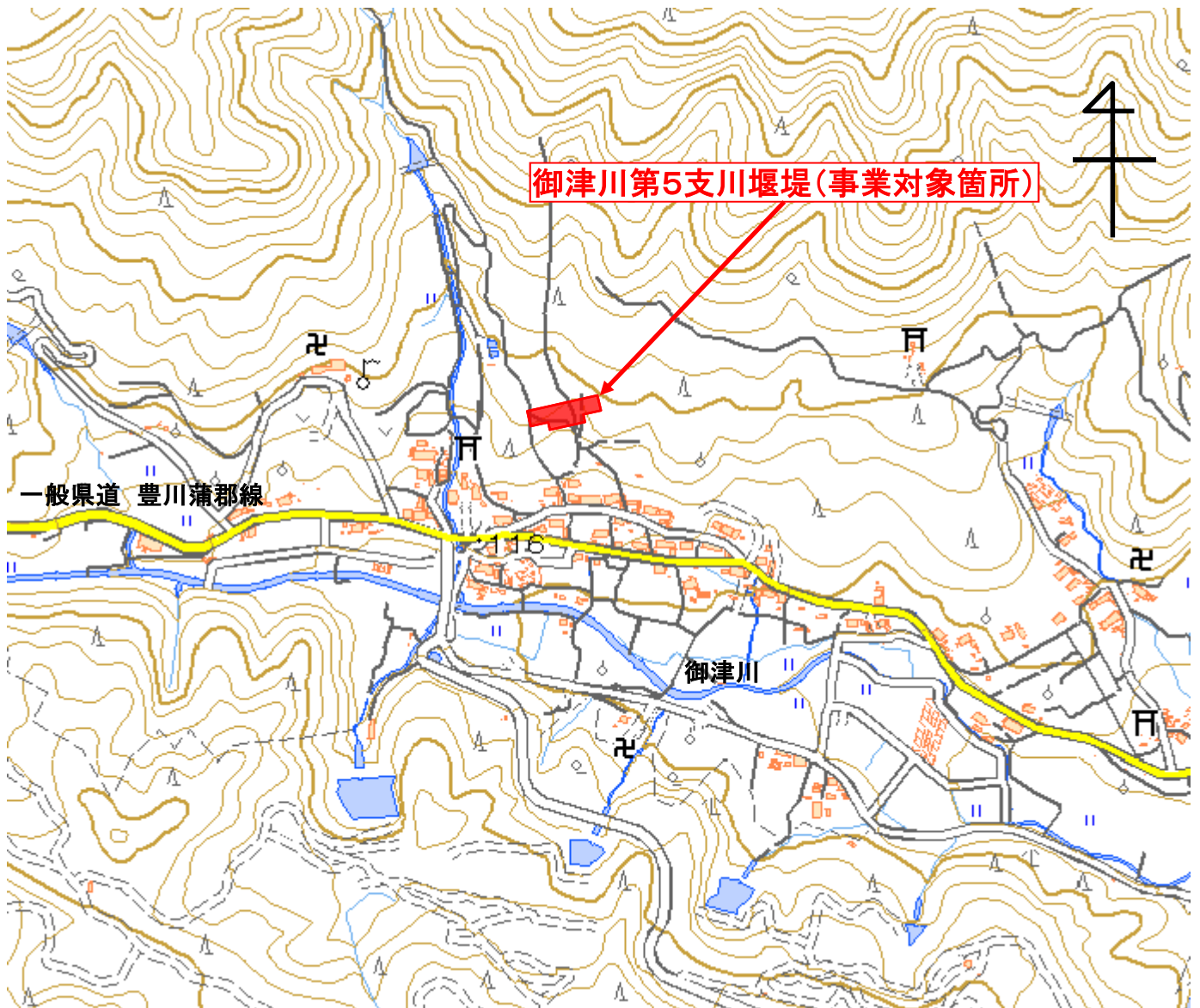
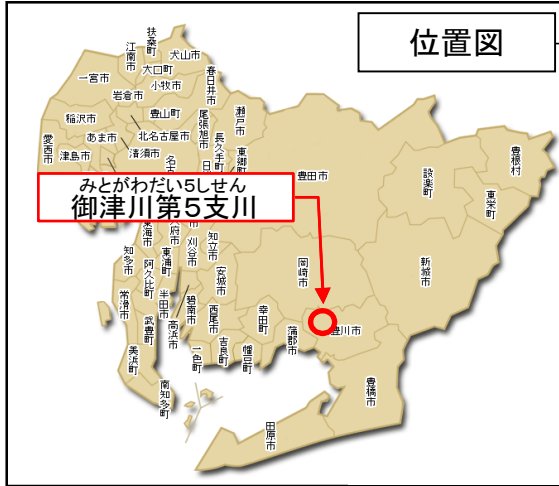
東林沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	御津川第5支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県豊川市御津町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工22m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	1									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道豊川蒲郡線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数: 14戸 主要交通機関: 一般県道豊川蒲郡線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	3.1	B/C	3.3	B-C	7.1	EIRR (%)	12.4
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	3.0	~	3.7						
	残工期(+10%~-10%)	3.3	~	3.3						
	資産(-10%~+10%)	3.2	~	3.5						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家14戸及び一般県道豊川蒲郡線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

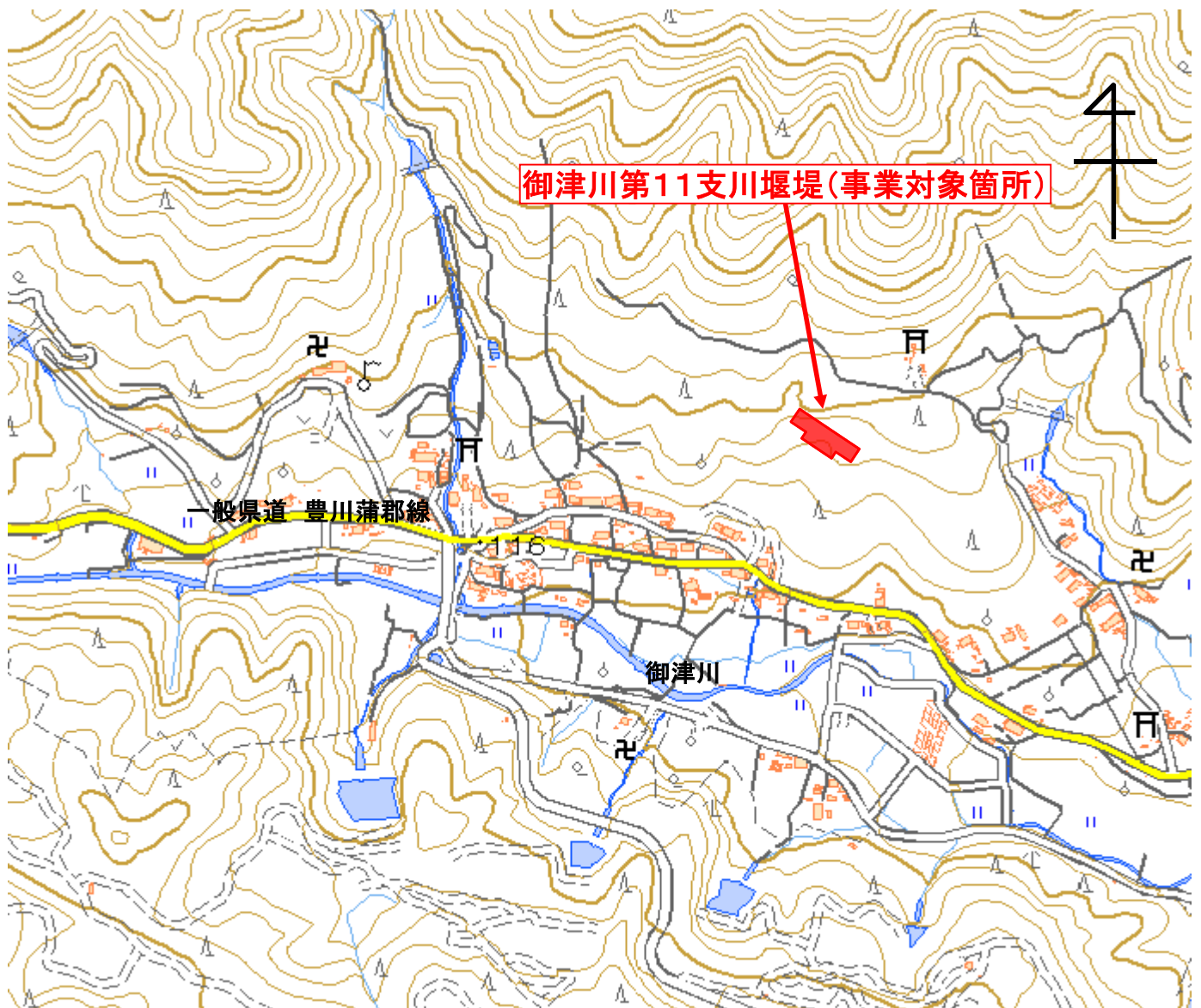
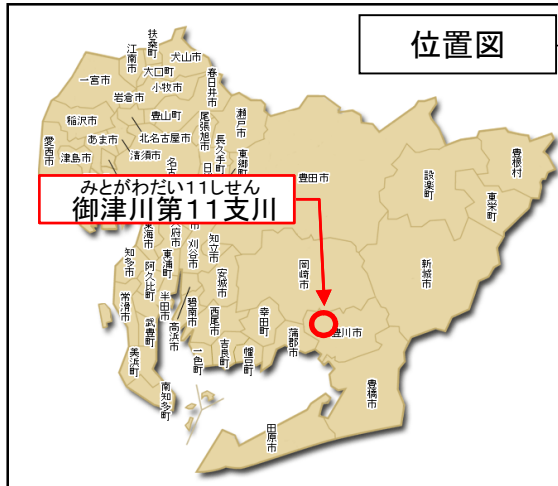
御津川第5支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	御津川第11支川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県豊川市御津町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	1.4									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道豊川蒲郡線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主な 根拠	世帯数: 8戸 主要交通機関: 一般県道豊川蒲郡線									
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	9.7	C:総費用(億円)	1.8	B/C	5.3	B-C	7.9	EIRR (%)	19.1
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	4.9	~	5.9						
	残工期(+10%~-10%)	5.4	~	5.3						
	資産(-10%~+10%)	5.1	~	5.5						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家8戸及び一般県道豊川蒲郡線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

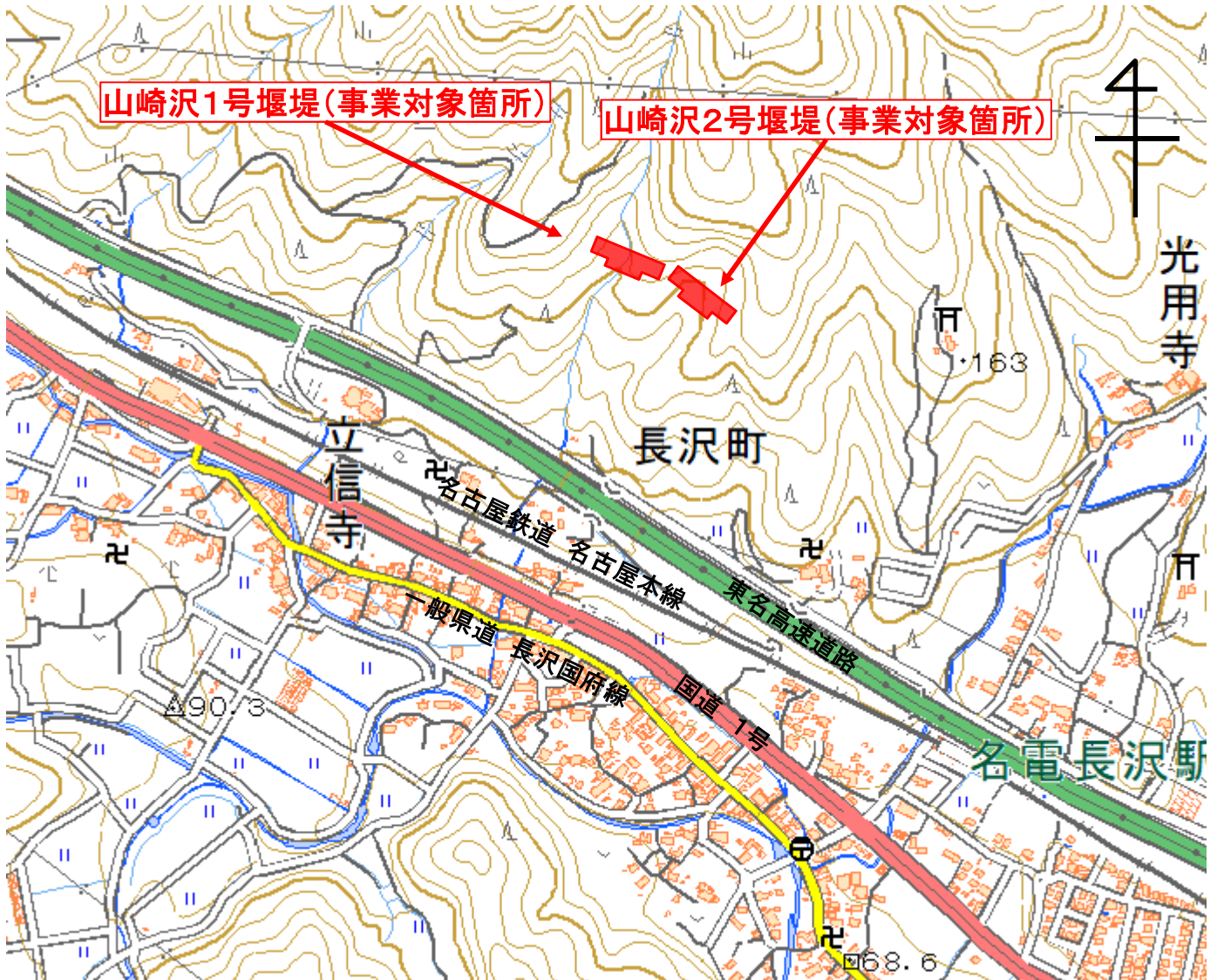
御津川第11支川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	山崎沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊川市長沢町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工197m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.5																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による東名高速道路、国道1号、一般県道長沢国府線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 17戸 主要交通機関: 名古屋鉄道名古屋本線、東名高速道路、国道1号、一般県道長沢国府線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	2.9	B/C	4.7	B-C	11	EIRR (%)	16.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.3</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.7</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 4.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.3	~ 5.2	残工期(+10%~-10%)	4.7	~ 4.7	資産(-10%~+10%)	4.4	~ 4.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.3	~ 5.2																				
残工期(+10%~-10%)	4.7	~ 4.7																				
資産(-10%~+10%)	4.4	~ 4.9																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家17戸及び名古屋鉄道名古屋本線、東名高速道路、国道1号、一般県道長沢国府線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

山崎沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	乗小路沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																
実施箇所	愛知県豊橋市牛川町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工81m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による主要地方道東三河環状線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数: 45戸 主要交通機関: 主要地方道東三河環状線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	3.8	B/C	6.5	B-C	21	EIRR (%)	20.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.9</td> <td>~ 7.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.5</td> <td>~ 6.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.2</td> <td>~ 6.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.3	残工期(+10%~-10%)	6.5	~ 6.5	資産(-10%~+10%)	6.2	~ 6.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.3																				
残工期(+10%~-10%)	6.5	~ 6.5																				
資産(-10%~+10%)	6.2	~ 6.9																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家45戸及び主要地方道東三河環状線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

乗小路沢事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	金野川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県				
実施箇所	愛知県豊川市御津町地内									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工225m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度						
総事業費 (億円)	3.2									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、荒廃状況が著しく、不安定土砂が多量に堆積しているため、次期出水により下流の保全対象に基大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による一般県道豊川蒲郡線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主な 根拠	世帯数: 7戸 主要交通機関: 一般県道豊川蒲郡線									
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	6.0	C:総費用(億円)	2.7	B/C	2.2	B-C	3.3	EIRR (%)	8.7
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	2.0	~	2.5						
	残工期(+10%~-10%)	2.2	~	2.2						
	資産(-10%~+10%)	2.1	~	2.3						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家7戸及び一般県道豊川蒲郡線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

金野川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中村区域事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業主体	愛知県					
実施箇所	愛知県岡崎市保久町地内									
主な事業の 諸元	主要施設：擁壁工 L=380m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度						
総事業費 (億円)	3.7									
目的・必 要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区域は愛知県の岡崎市保久町に位置し、保全対象として人家12戸、下山区市民ホーム及び要配慮者利用施設である下山保育園、県道一色・小久田線L=140m、市道中村黒地線L=90mが被害想定区域内に位置する急傾斜地である。 ・また、強風化花崗岩で、その崖下には住宅がせまっており、非常な危険な状態であるため、地元住民から事業への要望が非常に強い箇所である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家12戸、下山区市民ホーム及び要配慮者利用施設である下山保育園、県道一色・小久田線、市道中村黒地線を土砂災害から保全する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標：水害等による被害の軽減 ・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家：12戸、公民館：1施設、保育園：1施設、県道一色・小久田線：140m、市道中村黒地線：90m									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	7.9	C:総費用(億円)	5.0	B/C	1.6	B-C	2.9	EIRR (%)	6.6
感度分析	全体事業 (B/C)									
	残事業費 (+10%~-10%)	1.5	~	1.8						
	残工期 (+10%~-10%)	1.6	~	1.6						
	資産 (-10%~+10%)	1.5	~	1.7						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家12戸、下山区市民ホーム及び要配慮者利用施設である下山保育園、県道一色・小久田線、市道中村黒地線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

中村区域事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	豊ノ沢区域事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県																	
実施箇所	愛知県岡崎市片寄町地内																					
主な事業 の諸元	主要施設：擁壁工 L=300m、法枠工 L=110m																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	4.4																					
目的・必 要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区域は岡崎市東部の片寄町に位置し、保全対象として人家16戸を有し、地域の重要交通網である主要地方道岡崎清岳線及び国の重要文化財を有する「天恩寺」が被害想定区域内に存在する急傾斜地である。 ・また、斜面の花崗岩は風化が進行しており、非常に危険な状態であるため、地元住民から急傾斜事業への要望が非常に強い箇所である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家16戸、県道岡崎清岳線を土砂災害から保全する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標：水害等による被害の軽減 ・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家：16戸、県道岡崎清岳線：300m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.2	C:総費用(億円)	4.9	B/C	1.3	B-C	1.3	EIRR (%)	5.3												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>1.2</td> <td>~</td> <td>1.4</td> </tr> </table>										残事業費 (+10%~-10%)	1.2	~	1.4	残工期 (+10%~-10%)	1.3	~	1.3	資産 (-10%~+10%)	1.2	~	1.4
残事業費 (+10%~-10%)	1.2	~	1.4																			
残工期 (+10%~-10%)	1.3	~	1.3																			
資産 (-10%~+10%)	1.2	~	1.4																			
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家16戸、県道岡崎清岳線を土砂災害から保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

豊ノ沢区域事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	棚口区域事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業主体	愛知県												
実施箇所	愛知県豊田市中切町地内																
主な事業の諸元	主要施設：擁壁工 L=300m																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	4.0																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>・当該区域は、愛知県の豊田市中切町にあり、保全対象として人家19戸を有する急傾斜地である。保全対象には、第1次緊急輸送路に指定されている一般国道153号が含まれる。</p> <p>・また、脆弱な花崗岩からなっているため、風化が進んだ斜面は崩壊の危険性が高い。さらに、せり出した斜面が人家裏まで迫っているため、豪雨時には甚大な土砂災害が発生する恐れがあることから、早急に安全を確保する必要がある。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>人家19戸、一般国道153号（第1次緊急輸送路）を土砂災害から保全する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標：水害等による被害の軽減 ・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	人家：19戸、一般国道153号（第1次緊急輸送路）：260m																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	7.1	C:総費用(億円)	4.5	B/C 1.6 B-C 2.6 EIRR (%) 6.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業 (B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.6</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業 (B/C)		残事業費 (+10%~-10%)	1.3	~ 1.7	残工期 (+10%~-10%)	1.6	~ 1.6	資産 (-10%~+10%)	1.4	~ 1.7
	全体事業 (B/C)																
残事業費 (+10%~-10%)	1.3	~ 1.7															
残工期 (+10%~-10%)	1.6	~ 1.6															
資産 (-10%~+10%)	1.4	~ 1.7															
事業の効果等	当該事業を実施することにより、人家19戸、一般国道153号（第1次緊急輸送路）を土砂災害から保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

棚口区域事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	名木下区域事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業主体	愛知県												
実施箇所	愛知県豊田市西萩平町地内																
主な事業の諸元	主要施設：擁壁工 L=300m、法枠工 L=60m																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	3.9																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区域は愛知県の豊田市西萩平町に位置し、保全対象として人家10戸および地域防災計画に位置づけされている一時避難所（西萩平集会所）、県道沢田御作線が急傾斜地崩壊危険区域等内に位置している。 ・また、地質は強風化花崗岩で、その崖下には住宅がせまっており、非常に危険な状態であるため、地元住民から急傾斜事業への要望が非常に強い箇所である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家10戸、地域防災計画に位置づけされている一時避難所（西萩平集会所）、県道沢田御作線を土砂災害から保全する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標：水害等による被害の軽減 ・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	人家：10戸、公民館（避難所）：1施設、県道沢田御作線：130m																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	7.5	C:総費用(億円)	5.3	B/C 1.4 B-C 2.2 EIRR (%) 5.8												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>1.4</td> <td>~</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>1.3</td> <td>~</td> <td>1.5</td> </tr> </table>					残事業費 (+10%~-10%)	1.3	~	1.6	残工期 (+10%~-10%)	1.4	~	1.4	資産 (-10%~+10%)	1.3	~	1.5
残事業費 (+10%~-10%)	1.3	~	1.6														
残工期 (+10%~-10%)	1.4	~	1.4														
資産 (-10%~+10%)	1.3	~	1.5														
事業の効果等	当該事業を実施することにより、人家10戸、地域防災計画に位置づけされている一時避難所（西萩平集会所）、県道沢田御作線を土砂災害から保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

名木下区域事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	平区域事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛知県					
実施箇所	愛知県豊田市藤沢町地内									
主な事業 の諸元	主要施設：擁壁工 L=340m									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度						
総事業費 (億円)	6.1									
目的・必 要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>・当該区域は愛知県の豊田市藤沢町に位置し、保全対象として人家20戸及び藤沢保育園、避難所となる藤沢小学校、県道豊田明智線、市道藤沢押沢線が急傾斜地崩壊危険区域等内に位置している。</p> <p>・また、地質は強風化花崗岩で、その崖下には住宅がせまっており、非常な危険な状態であるため、地元住民から急傾斜事業への要望が非常に強い箇所である。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>人家20戸、藤沢保育園、避難所となる藤沢小学校、県道豊田明智線、市道藤沢押沢線を土砂災害から保全する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <p>・政策目標：水害等による被害の軽減</p> <p>・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>									
便益の主 な根拠	人家：20戸、保育園：1施設、小学校（避難所）：1施設、県道豊田明智線：150m、市道藤沢押沢線：140m									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	18	C:総費用(億円)	6.3	B/C	2.8	B-C	11.7	EIRR (%)	11.0
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <p>残事業費 (+10%~-10%) 2.6 ~ 3.2</p> <p>残工期 (+10%~-10%) 2.8 ~ 2.8</p> <p>資産 (-10%~+10%) 2.6 ~ 3.1</p>									
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、人家20戸、藤沢保育園、避難所となる藤沢小学校、県道豊田明智線、市道藤沢押沢線を土砂災害から保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

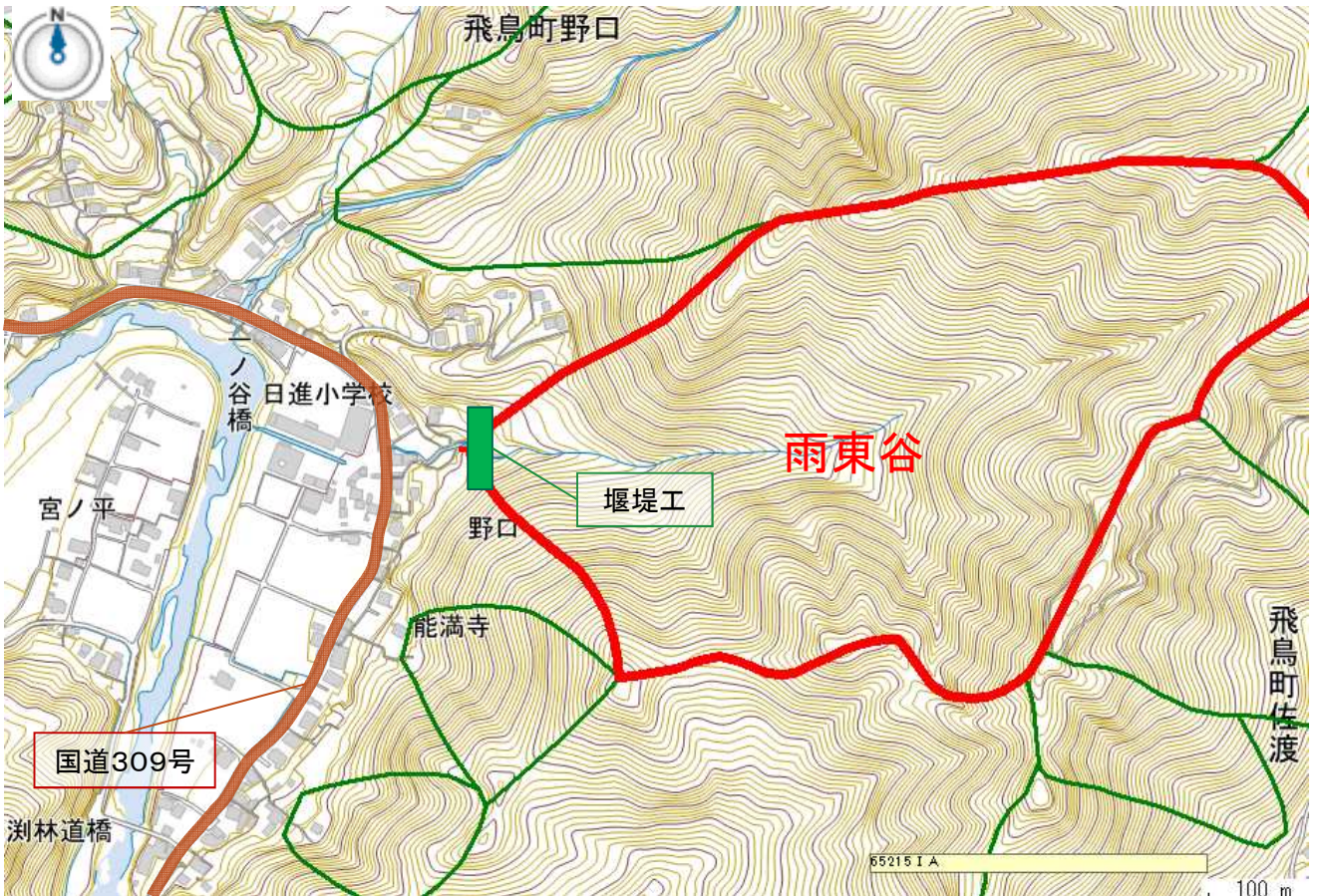
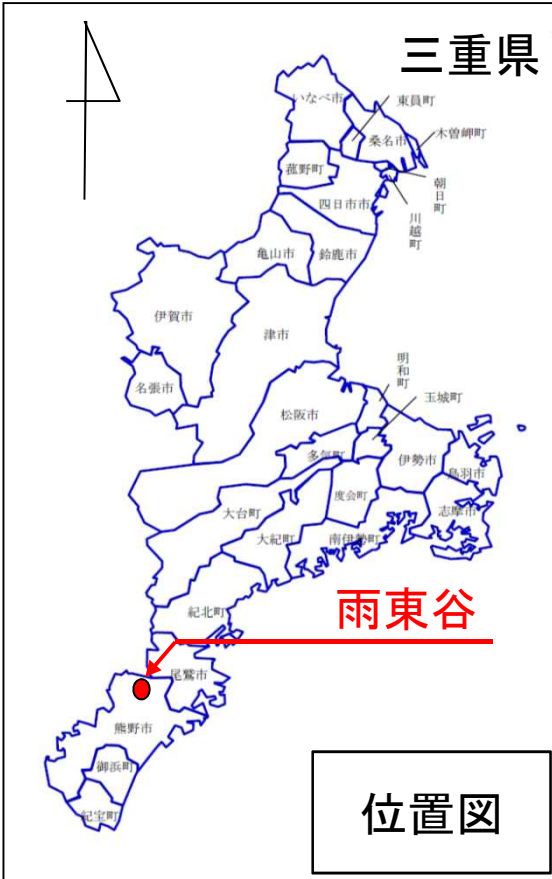
平区域事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	雨東谷事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	三重県			
			担当課長名	今井一之						
実施箇所	三重県熊野市飛鳥町									
主な事業 の諸元	砂防区域面積:約0.02km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工									
事業期間	事業採択	平成27年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	4.7									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>・当該事業区域の溪流は、山腹の荒廃、溪岸浸食が進み、倒木竹が谷全体に見られ、今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあり、災害発生時には人家5戸、小学校、要配慮者利用施設、国道309号に影響を及ぼすことが予想される。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>・熊野市飛鳥町地内において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、小学校、要配慮者利用施設、国道309号等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <p>・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>									
	便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.8ha 世帯数:5世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道309号								
	事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度							
感度分析	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	5.1	B/C	2.5	B-C	7.5	EIRR (%)	10.9
	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	2.3	~	2.8						
	残工期(+10%~-10%)	2.1	~	3.8						
資産(-10%~+10%)	2.3	~	2.7							
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家5戸、小学校、要配慮者利用施設、国道309号を保全できる。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

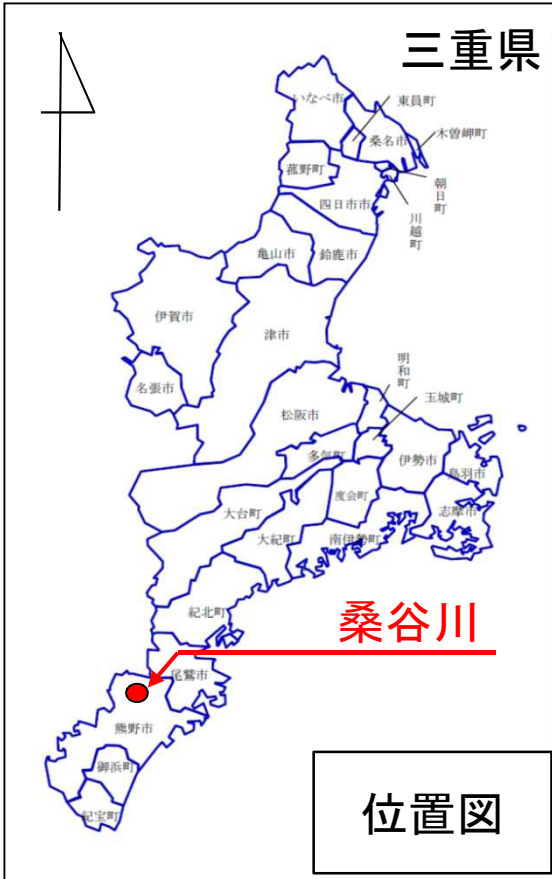
うとたに
雨東谷事業間連携砂防等事業
(三重県熊野市飛鳥町)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	桑谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井一之	事業 主体	三重県																
実施箇所	三重県熊野市五郷町																					
主な事業 の諸元	砂防区域面積:約1.7km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成27年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	5.6																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区域の溪流は、山腹の荒廃、溪岸浸食が進み、倒木竹が谷全体に見られ、今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあり、災害発生時には人家33戸、国道309号に影響を及ぼすことが予想される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊野市五郷町地内において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、国道309号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:8.6ha 世帯数:33世帯 主要交通機関:国道309号																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	41	C:総費用(億円)	13	B/C	3.1	B-C	28	EIRR (%)	13.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.2	残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.2																				
残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.4																				
資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家33戸、国道309号を保全できる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

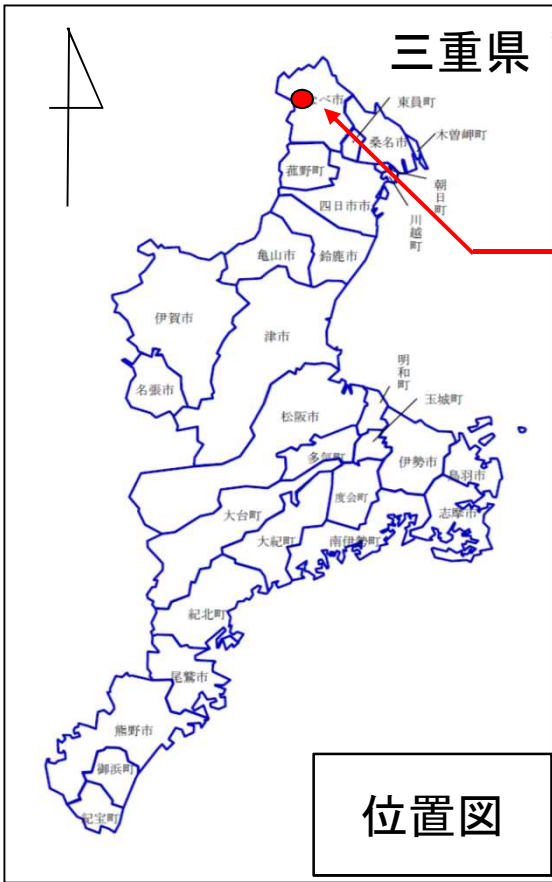
くわたにがわ
桑谷川事業間連携砂防等事業
(三重県熊野市五郷町)



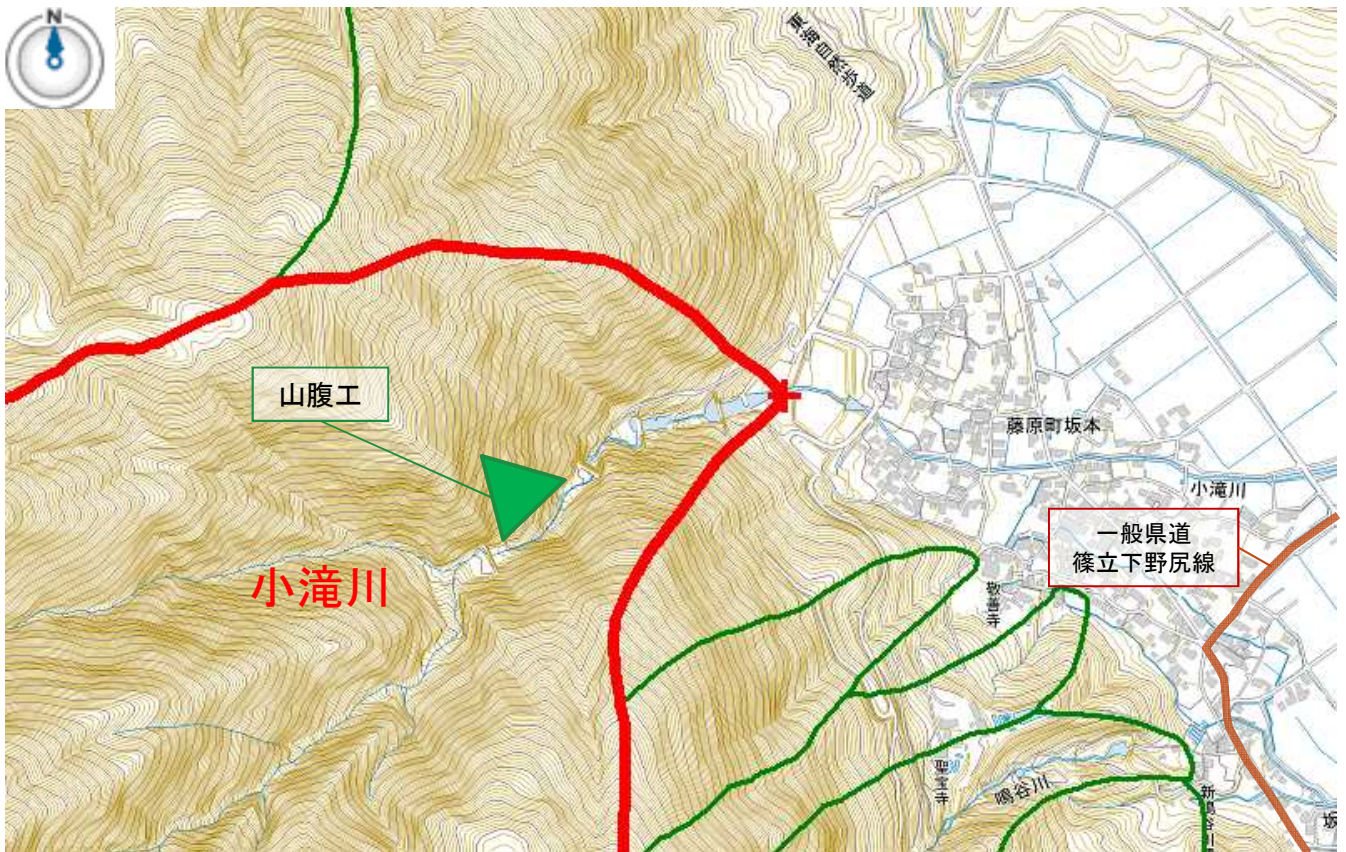
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小滝川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	三重県																
実施箇所	三重県いなべ市藤原町坂本																					
主な事業 の諸元	砂防区域面積:約2.7km ² 主要施設:山腹工																					
事業期間	事業採択	平成23年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	6.5																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流は、平成20年、平成24年に土石流が発生している。 ・当該流域の土質は石灰岩質の非常に脆弱な土質であり、荒廃の進行により溪流に不安定土砂が堆積し、土砂災害の危険度が高い状況である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなべ市藤原町地域において、降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、重要公共施設(公民館、消防署、郵便局)、道路(県道篠立野尻線等)への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:83.3ha 世帯数:255世帯 重要公共施設 公民館、消防署、郵便局 主要交通機関:県道篠立野尻線等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	61	C:総費用(億円)	21	B/C	2.9	B-C	40	EIRR (%)	14.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 2.9	残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 2.9	資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 2.9																				
残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 2.9																				
資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.0																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、被害が想定される人家255戸、重要公共施設(公民館、消防署、郵便局)、道路(県道篠立野尻線等)が保全される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

こたきがわ
小滝川事業間連携砂防等事業
(三重県いなべ市藤原町坂本)



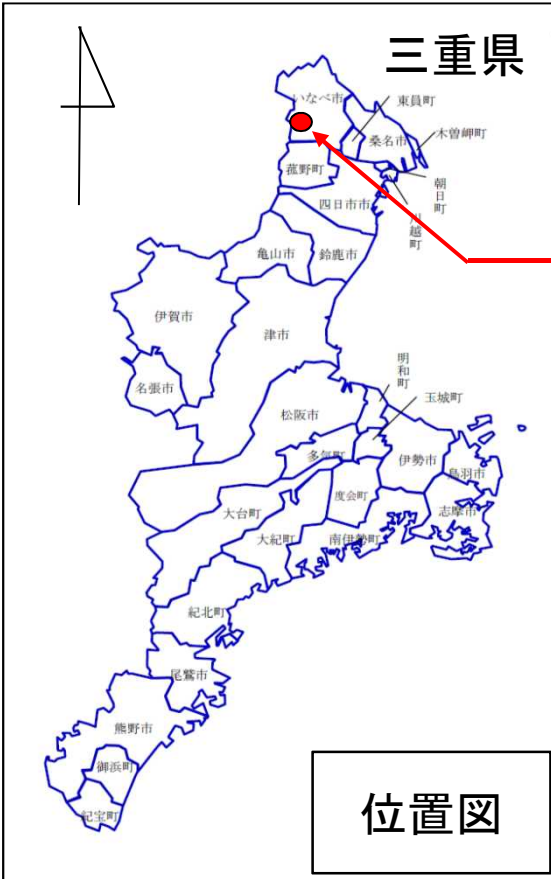
小滝川



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	青川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井一之	事業 主体	三重県																	
実施箇所	三重県いなべ市北勢町新町																					
主な事業 の諸元	砂防区域面積:約1.7km ² 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成27年度	完了	平成36年度																		
総事業費 (億円)	6.7																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流は、平成24年に土石流が発生している。 ・当該事業区域の溪流は、山腹の荒廃、溪岸浸食が進み、倒木竹が谷全体に見られ、今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあり、災害発生時には人家10戸、重要公共施設(水源地)、国道306号、三岐鉄道等に影響を及ぼすことが予想される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いなべ市北勢町地内において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、重要公共施設(水源地)、国道306号、鉄道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:65.9ha 世帯数:10世帯 重要公共施設 丹生川上水源地 主要交通機関:国道306号、三岐鉄道等																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	24	C:総費用(億円)	8.3	B/C	2.9	B-C	16	EIRR (%)	11.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.1	残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 3.0	資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.1																				
残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 3.0																				
資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.0																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家10戸、重要公共施設(水源地)、国道306号、三岐鉄道等を保全できる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

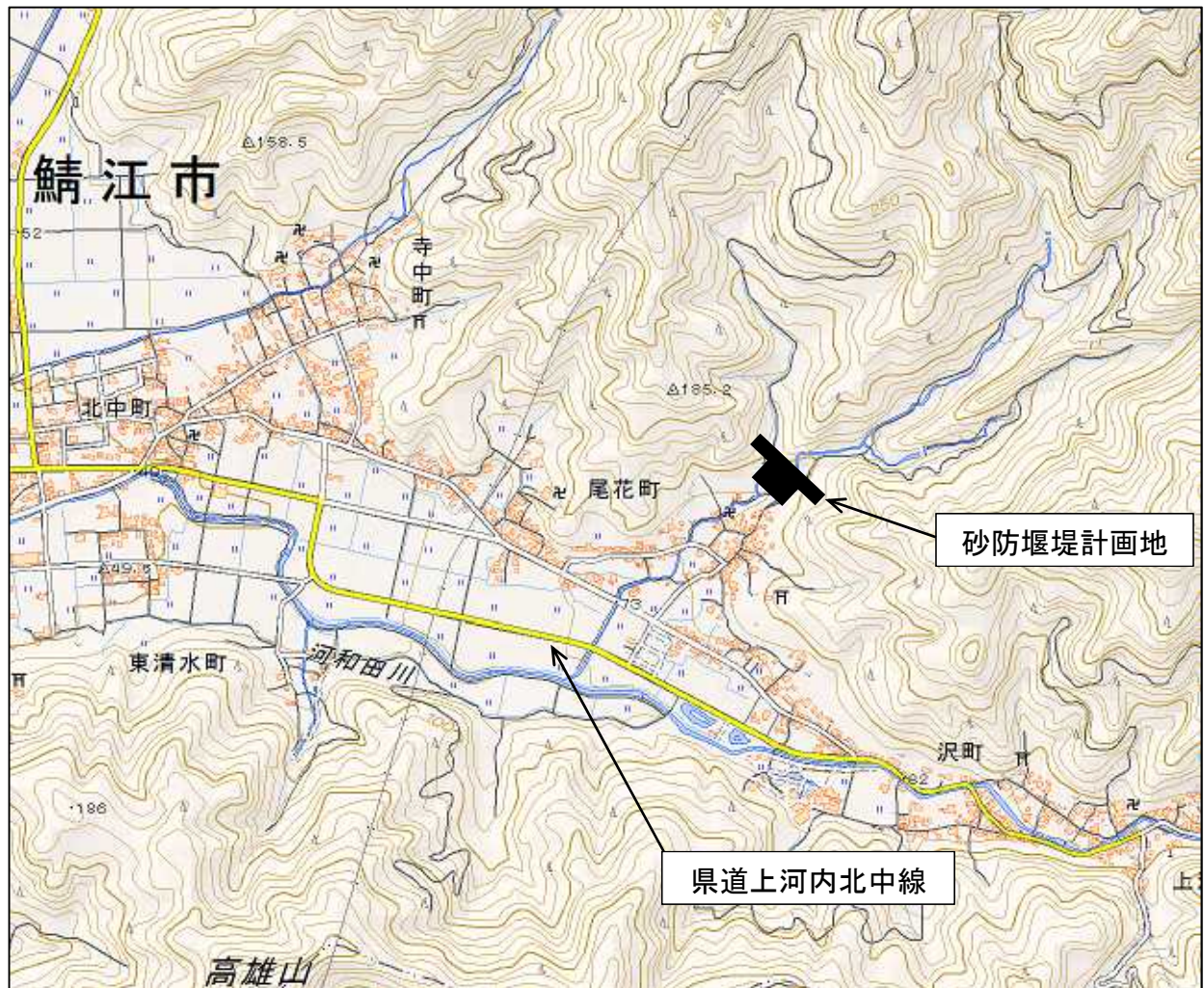
あおがわ
青川事業間連携砂防等事業
(三重県いなべ市北勢町新町)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	毘紗川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	福井県																
実施箇所	福井県鯖江市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																		
総事業費 (億円)	5.3																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成16年7月の福井豪雨で土砂が流出し、県道上河内北中線や人家などに被害が発生した。 ・流域内の河床には不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により下流域に流出する恐れがある。 ・鯖江市および地域住民から早期完成に対する強い要望がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毘紗川流域において降雨が発生した際に、土石流および流木の発生する可能性が高いため、砂防堰堤の整備を行い、県道上河内北中線や人家等への直接的な被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家: 25戸 重要交通機関: 県道上河内北中線 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	24	C:総費用(億円)	4.7	B/C	5.2	B-C	20	EIRR (%)	23.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.7</td> <td>~ 5.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.2</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 5.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.7	~ 5.8	残工期(+10%~-10%)	5.2	~ 5.2	資産(-10%~+10%)	4.9	~ 5.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.7	~ 5.8																				
残工期(+10%~-10%)	5.2	~ 5.2																				
資産(-10%~+10%)	4.9	~ 5.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が25戸から0戸に軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流被害について、県道上河内北中線を保全する。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

毘紗川事業関連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	清水川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	福井県												
実施箇所	福井県三方上中郡若狭町																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.2																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成25年9月の台風18号で土砂が流出し、国道27号や人家などに被害が発生した。 ・流域内の河床には不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により下流域に流出する恐れがある。 ・若狭町および地域住民から早期完成に対する強い要望ある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水川流域において降雨が発生した際に、土石流および流木の発生する可能性が高いため、砂防堰堤の整備を行い、国道27号や人家等への直接的な被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な 根拠	人家:124戸 重要交通機関: 国道27号、JR小浜線 公益施設: JR三方駅、館川公民館、等																
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	77	C:総費用(億円)	2.3	B/C 33.4 B-C 75 EIRR (%) 154.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>30.4</td> <td>~ 37.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>33.6</td> <td>~ 33.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>31.8</td> <td>~ 35.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	30.4	~ 37.2	残工期(+10%~-10%)	33.6	~ 33.4	資産(-10%~+10%)	31.8	~ 35.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	30.4	~ 37.2															
残工期(+10%~-10%)	33.6	~ 33.4															
資産(-10%~+10%)	31.8	~ 35.3															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が124戸から0戸に軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流被害について、国道27号を保全する。 																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

清水川事業関連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	神谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	福井県																
実施箇所	福井県三方上中郡若狭町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成25年9月の台風18号で土砂が流出し、国道27号や人家などに被害が発生した。 ・流域内の河床には不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により下流域に流出する恐れがある。 ・若狭町および地域住民から早期完成に対する強い要望ある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神谷川流域において降雨が発生した際に、土石流および流木の発生する可能性が高いため、砂防堰堤の整備を行い、国道27号や人家等への直接的な被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	人家:29戸 重要交通機関:国道27号 公益施設:神谷生活改善センター、等																					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	1.8	B/C	14.0	B-C	23	EIRR (%)	64.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.7</td> <td>~ 15.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>14.1</td> <td>~ 14.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>13.2</td> <td>~ 14.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.7	~ 15.5	残工期(+10%~-10%)	14.1	~ 14.0	資産(-10%~+10%)	13.2	~ 14.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.7	~ 15.5																				
残工期(+10%~-10%)	14.1	~ 14.0																				
資産(-10%~+10%)	13.2	~ 14.9																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が29戸から0戸に軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流被害について、国道27号を保全する。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

神谷川事業関連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	秋夜谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	福井県												
実施箇所	福井県三方上中郡若狭町																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	3.4																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成25年9月の台風18号で土砂が流出し、国道27号や人家などに被害が発生した。 ・流域内の河床には不安定な土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により下流域に流出する恐れがある。 ・若狭町および地域住民から早期完成に対する強い要望ある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋夜谷川流域において降雨が発生した際に、土石流および流木の発生する可能性が高いため、砂防堰堤の整備を行い、国道27号や人家等への直接的な被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	人家:102戸 重要交通機関:国道27号、JR小浜線 公益施設:上中中学校、若狭町役場上中庁舎、上中病院、特別養護老人ホーム松寿苑、等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益 (億円)	120	C:総費用(億円)	3.5	B/C 34.4 B-C 117 EIRR (%) 156.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>31.2</td> <td>~ 38.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>34.5</td> <td>~ 34.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>32.0</td> <td>~ 36.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	31.2	~ 38.3	残工期(+10%~-10%)	34.5	~ 34.3	資産(-10%~+10%)	32.0	~ 36.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	31.2	~ 38.3															
残工期(+10%~-10%)	34.5	~ 34.3															
資産(-10%~+10%)	32.0	~ 36.8															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が102戸から0戸に軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流被害について、国道27号を保全する。 																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

秋夜谷川事業関連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	寺地地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	福井県												
実施箇所	福井県越前市																
主な事業 の諸元	主要施設:集水井、横ポーリング、盛土工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.8																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成13年頃から亀裂が拡大、石積みの小崩壊が相次いだ。 ・被害想定区域には、一級河川や県道があり、地すべりが発生した際には甚大な被害を及ぼす可能性がある。 ・越前市および地域住民から早期完成に対する強い要望ある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域において降雨等により、地すべりの発生する可能性が高いため、地すべり対策を実施し人家等への直接的な被害を軽減する。 ・地すべり土塊によって天然ダムが形成され決壊した際に、下流の河川構造物に影響する可能性が高いため、地すべり対策を実施する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	人家:54戸 交通機関:県道武生美山線 公益施設:寺地公民館、等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	27	C:総費用(億円)	15	B/C 1.7 B-C 11 EIRR (%) 6.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.9	残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.9															
残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7															
資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.8															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が54戸から0戸に軽減する。 ② 計画規模の豪雨による地すべり被害について、河川構造物を保全する。 																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>平成27年11月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない</p>																

寺地地区事業関連携砂防等事業 位置図

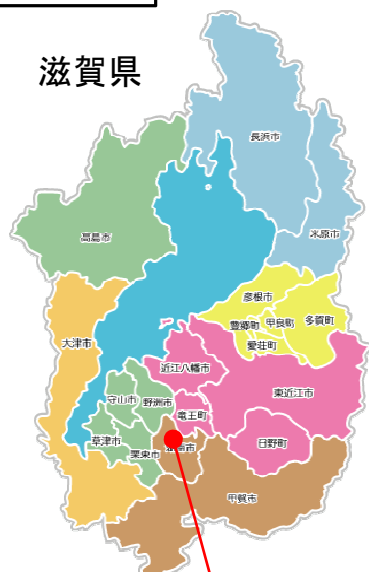


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	榎川支流事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県												
実施箇所	滋賀県湖南市																
主な事業 の諸元	流域面積:約0.014km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	2.1																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域は花崗岩等の脆弱な地質からなり、多くの崩壊地が存在し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。 ・事業区域では降雨により土石流等が発生した場合、人家や主要地方道野洲甲西線(緊急輸送道路)に甚大な被害が生じると想定され、主要地方道野洲甲西線が寸断された場合、地域生活、経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域において降雨により下流へ流出する土砂及び流木について対策施設の整備を行い、土石流等による主要地方道野洲甲西線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:4.6ha 世帯数:12世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:主要地方道野洲甲西線(緊急輸送道路)、市道 等																
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	2.0	B/C 6.1 B-C 10 EIRR (%) 33.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.6</td> <td>~ 6.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.0</td> <td>~ 6.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.7</td> <td>~ 6.4</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.6	~ 6.7	残工期(+10%~-10%)	6.0	~ 6.1	資産(-10%~+10%)	5.7	~ 6.4
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	5.6	~ 6.7															
残工期(+10%~-10%)	6.0	~ 6.1															
資産(-10%~+10%)	5.7	~ 6.4															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される人家12戸の被害を軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される主要地方道野洲甲西線(緊急輸送道路)、市道の被害を軽減する。 																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

榎川支流事業間連携砂防等事業 位置図

位置図

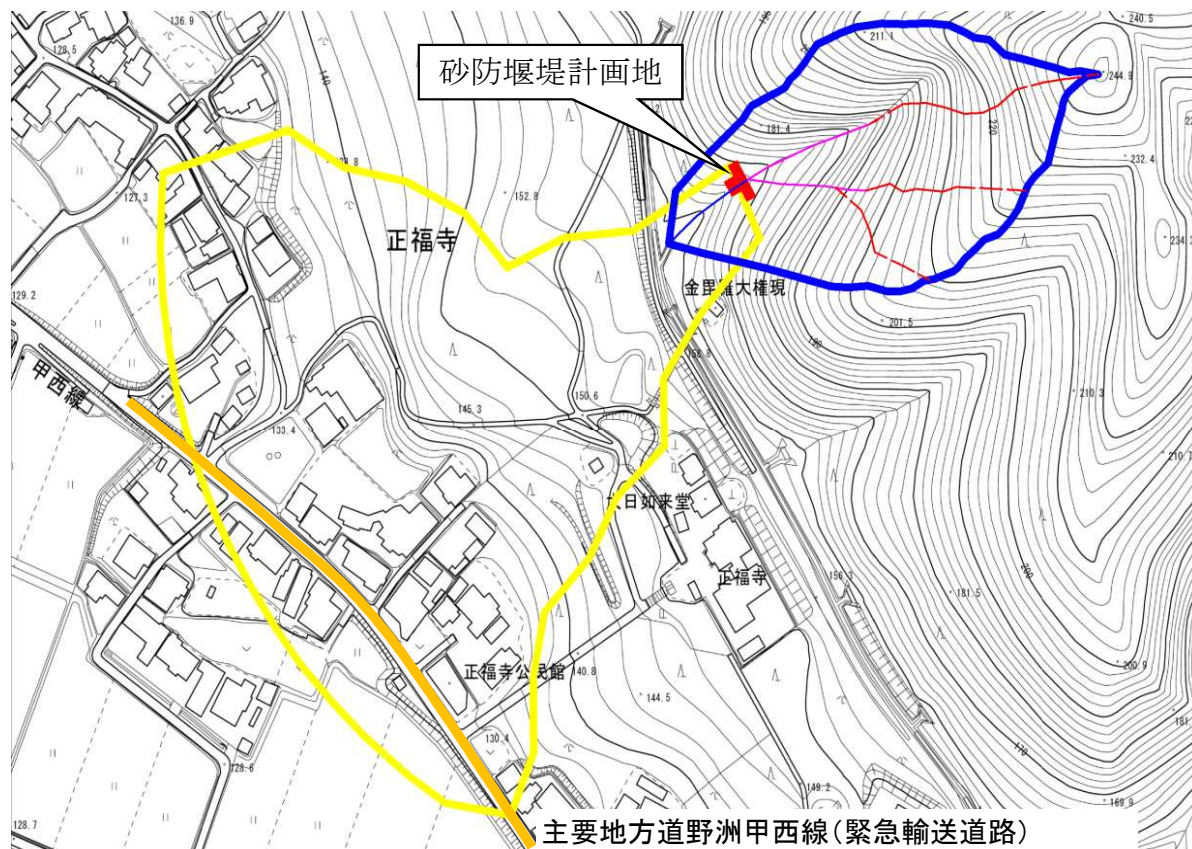


滋賀県

【凡例】

● : 事業箇所

えのきがわしりゅう
榎川支流
事業間連携砂防等事業

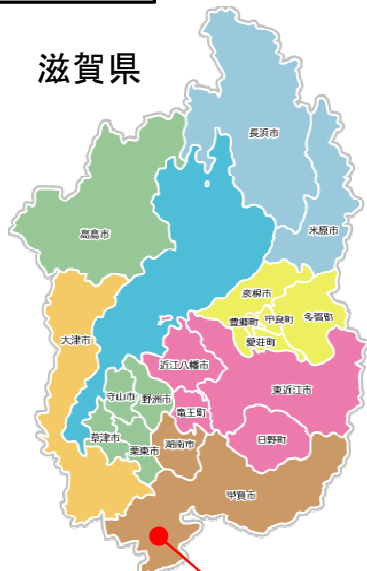


<新規事業採択時評価>

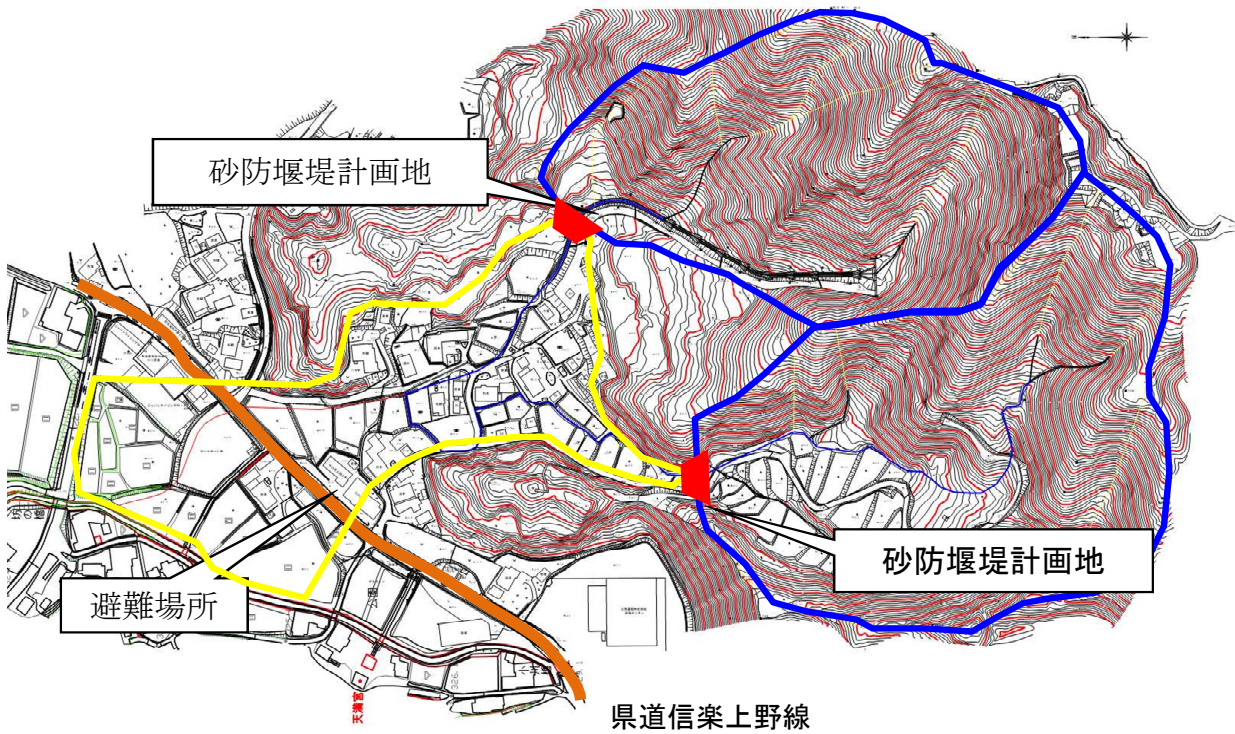
事業名 (箇所名)	中手川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県																
実施箇所	滋賀県甲賀市																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.115km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																		
総事業費 (億円)	3.2																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域は花崗岩等の脆弱な地質からなり、多くの崩壊地が存在し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。 ・事業区域では降雨により土石流等が発生した場合、人家や避難所、県道信楽上野線に甚大な被害が生じると想定され、県道信楽上野線が寸断された場合、地域生活、経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域において降雨により下流へ流出する土砂及び流木について対策施設の整備を行い、土石流等による県道信楽上野線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:3.2ha 世帯数:7世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:県道信楽上野線、市道 避難場所:小川会館、小川老人憩いの家 等																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	9.8	C:総費用(億円)	4.2	B/C	2.3	B-C	5.6	EIRR (%)	10.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.3	~ 2.3	資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.3	~ 2.3																				
資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される人家7戸の被害を軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される県道信楽上野線、市道の被害を軽減する。 ③ 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される地域防災計画に位置付けられた避難場所(小川会館、小川老人憩いの家)の被害を軽減する。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

中手川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



なかてがわ
中手川
事業間連携砂防等事業



	3.7									
		16		4.1	B/C	3.9	B-C	12	EIRR	19.5
		3.6	4.3							
		3.9	3.9							
		3.7	4.1							

清水谷事業間連携砂防等事業 位置図

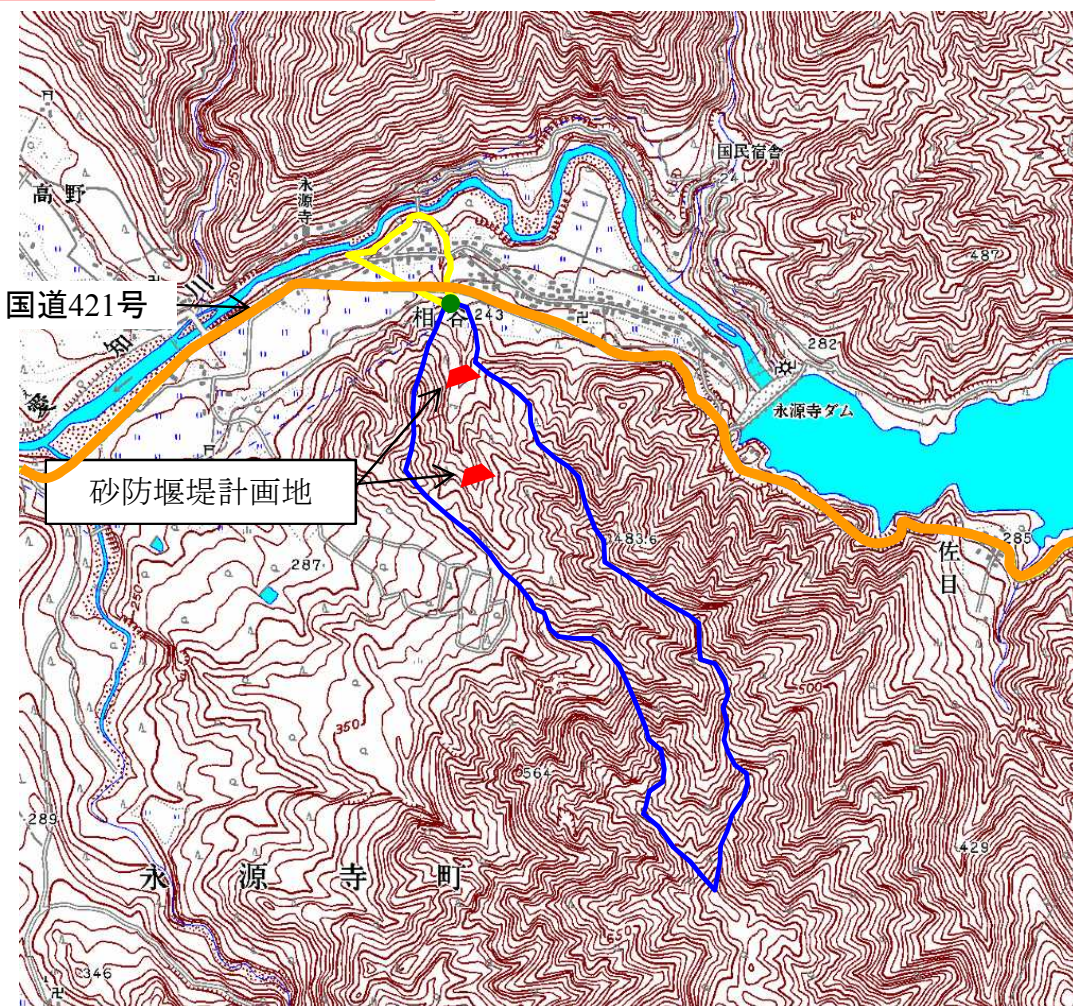
位置図



【凡例】

●：事業箇所

しみずだに
清水谷
事業間連携砂防等事業



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	嶺上谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県																	
実施箇所	滋賀県長浜市																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.58km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																			
総事業費 (億円)	3.6																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域には随所に溪岸侵食に伴う崩壊地が存在し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。 ・事業区域では降雨により土石流等が発生した場合、人家や県道高山長浜線(緊急輸送道路)に甚大な被害が生じると想定され、県道高山長浜線が寸断された場合、地域生活、経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域において降雨により下流へ流出する土砂及び流木について対策施設の整備を行い、土石流等による県道高山長浜線等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:5.6ha 世帯数:27世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:県道高山長浜線(緊急輸送道路)、市道 等																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	23	C:総費用(億円)		3.5	B/C	6.4	B-C	19	EIRR (%)	35.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.9</td> <td>~ 7.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 6.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.1</td> <td>~ 6.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.0	残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.5	資産(-10%~+10%)	6.1	~ 6.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.0																					
残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.5																					
資産(-10%~+10%)	6.1	~ 6.8																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される人家27戸の被害を軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される県道高山長浜線(緊急輸送道路)、市道の被害を軽減する。 																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

嶺上谷川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



【凡例】

● : 事業箇所

みねあげたにがわ
嶺上谷川
事業間連携砂防等事業



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	本谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県																	
実施箇所	滋賀県長浜市																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.58km ² 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.7																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域には随所に溪岸侵食に伴う崩壊地が存在し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。 ・事業区域では降雨により土石流等が発生した場合、人家や北陸自動車道(緊急輸送道路)、国道365号(緊急輸送道路)、県道杉本余呉線に甚大な被害が生じると想定され、北陸自動車道、国道365号、県道杉本余呉線が寸断された場合、地域生活、経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域において降雨により下流へ流出する土砂及び流木について対策施設の整備を行い、土石流等による北陸自動車道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主な 根拠等	想定氾濫面積:15ha 世帯数:73世帯 重要公共施設:4施設 主要交通機関:北陸自動車道(緊急輸送道路)、国道365号(緊急輸送道路)																						
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	49	C:総費用(億円)		2.4	B/C	20.3	B-C	47	EIRR (%)	183.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>18.9</td> <td>~ 21.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>20.3</td> <td>~ 20.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>19.0</td> <td>~ 21.5</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	18.9	~ 21.6	残工期(+10%~-10%)	20.3	~ 20.3	資産(-10%~+10%)	19.0	~ 21.5
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	18.9	~ 21.6																					
残工期(+10%~-10%)	20.3	~ 20.3																					
資産(-10%~+10%)	19.0	~ 21.5																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される人家73戸の被害を軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される北陸自動車道(緊急輸送道路)、国道365号(緊急輸送道路)、県道杉本余呉線、市道の被害を軽減する。 																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	畑谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県																
実施箇所	滋賀県高島市																					
主な事業 の諸元	流域面積:約1.38km ² 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	3.5																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域には随所に溪岸侵食に伴う崩壊地が存在し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。 ・事業区域では降雨により土石流等が発生した場合、人家や国道367号(緊急輸送道路)に甚大な被害が生じると想定され、国道367号が寸断された場合、地域生活、経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域において降雨により下流へ流出する土砂及び流木について対策施設の整備を行い、土石流等による国道367号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.1ha 世帯数:16世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道367号(緊急輸送道路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	4.1	B/C	3.0	B-C	8.3	EIRR (%)	14.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.3	残工期(+10%~-10%)	3.0	~ 3.0	資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.3																				
残工期(+10%~-10%)	3.0	~ 3.0																				
資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される人家16戸の被害を軽減する。 ② 計画規模の豪雨による土石流に対して被害が想定される国道367号(緊急輸送道路)、市道の被害を軽減する。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

畑谷事業間連携砂防等事業 位置図

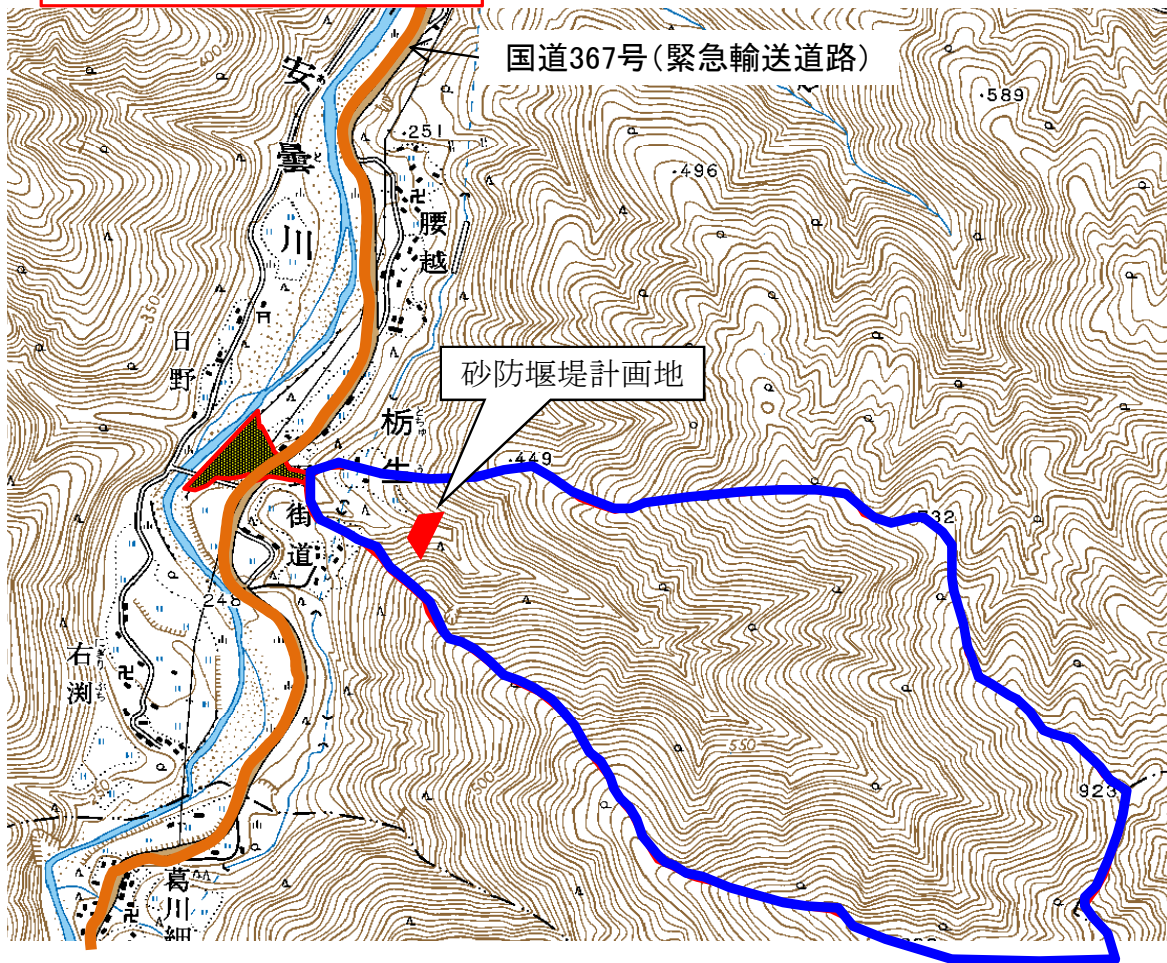
位置図



【凡例】

● : 事業箇所

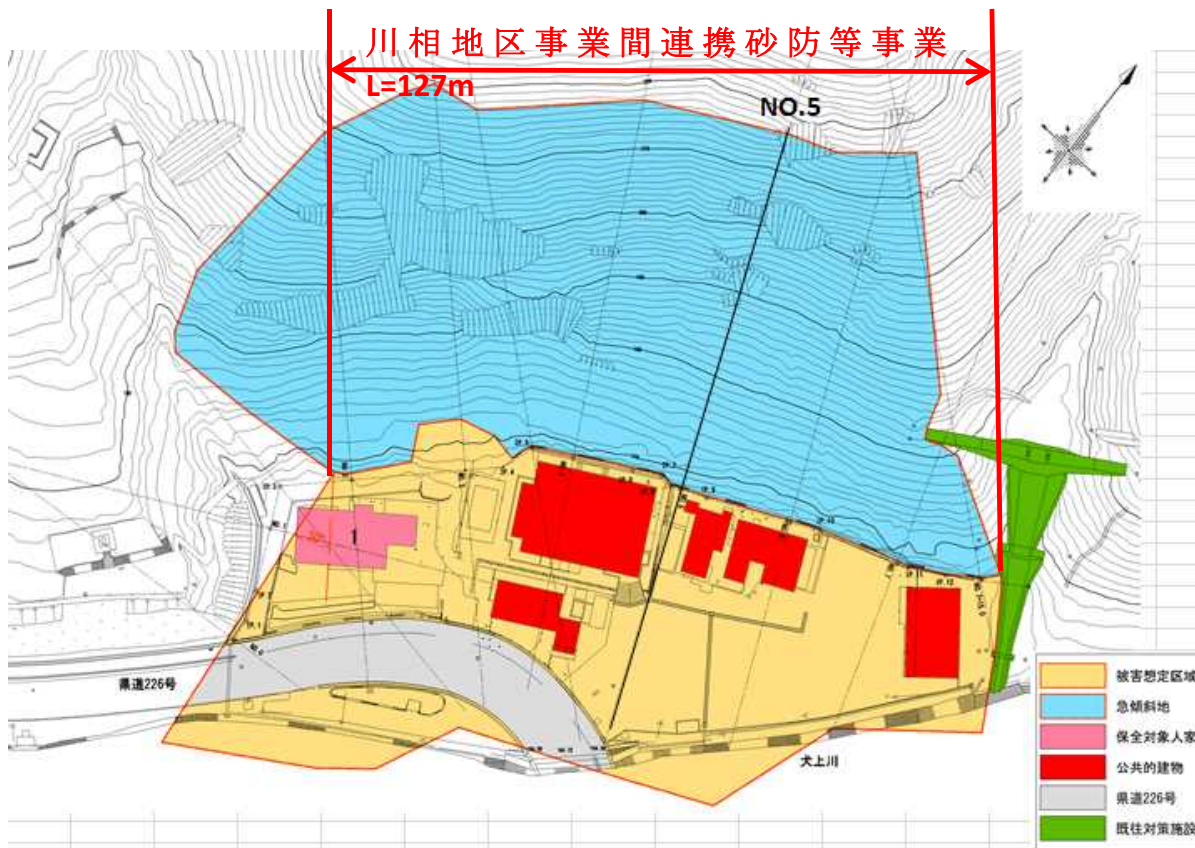
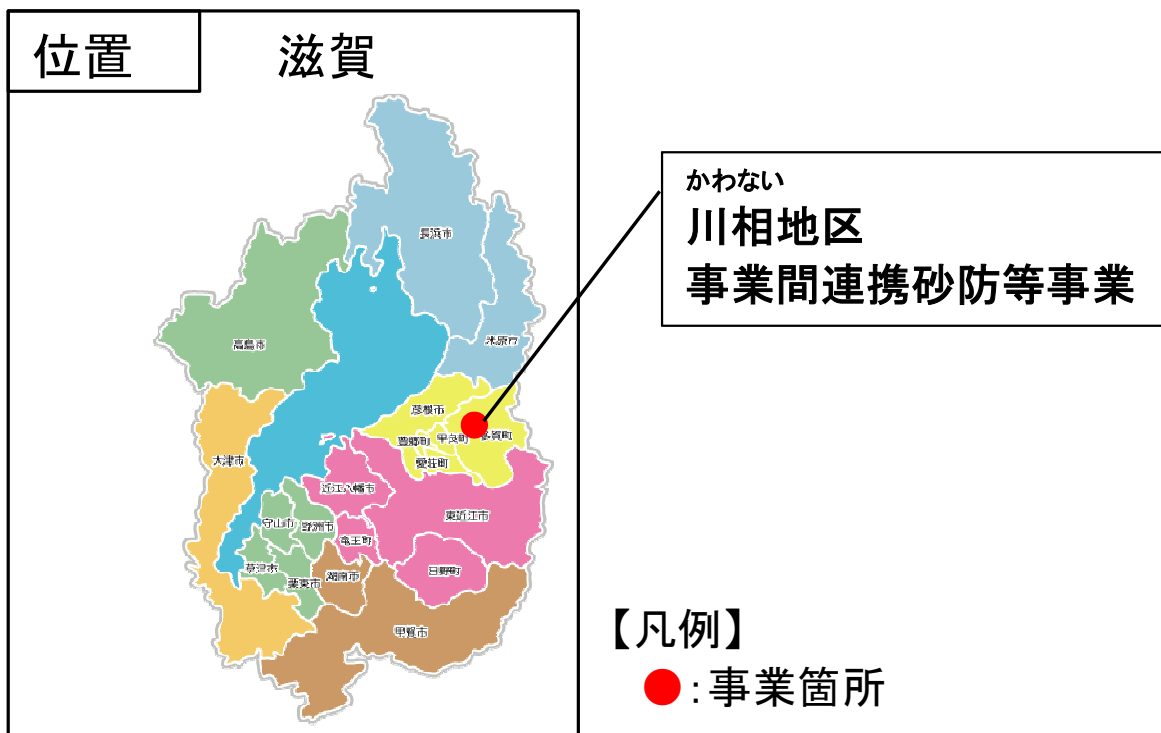
はた
たに
畑
谷
事業間連携砂防等事業



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	川相地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	滋賀県																	
実施箇所	滋賀県犬上郡多賀町																					
主な事業 の諸元	主要施設:もたれ式擁壁工、吹付法砕工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.7																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域は最大がけ高が50mかつ最急勾配が41度であり、斜面下部には崖錐が発達しているとともに、斜面中～上部には露岩やそこから抜け落ちた転石が点在している。 ・事業区域では降雨により土砂崩落等が発生した場合、人家、町役場支所、消防センター、県道佐目敏満寺線に甚大な被害が生じると想定され、県道佐目敏満寺線が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響は大きい。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨により土砂崩落等が発生する可能性が高い斜面に対して対策施設の整備を行い、土砂崩落等による役場支所等の重要公共施設や県道佐目敏満寺線への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数:1世帯 重要公共施設:3施設 主要交通機関:県道226号(佐目・敏満寺線)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	1.7	B/C	14.2	B-C	23	EIRR (%)	65.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.9</td> <td>~ 15.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>14.2</td> <td>~ 14.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.8</td> <td>~ 15.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.9	~ 15.5	残工期(+10%~-10%)	14.2	~ 14.2	資産(-10%~+10%)	12.8	~ 15.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.9	~ 15.5																				
残工期(+10%~-10%)	14.2	~ 14.2																				
資産(-10%~+10%)	12.8	~ 15.6																				
事業の効 果等	<p>① 当該事業を実施することにより、人家1戸、重要公共施設3施設、県道70mに対する斜面崩壊による直接的影響が軽減される。</p> <p>② 事業実施により、土砂災害特別警戒区域が解除される。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

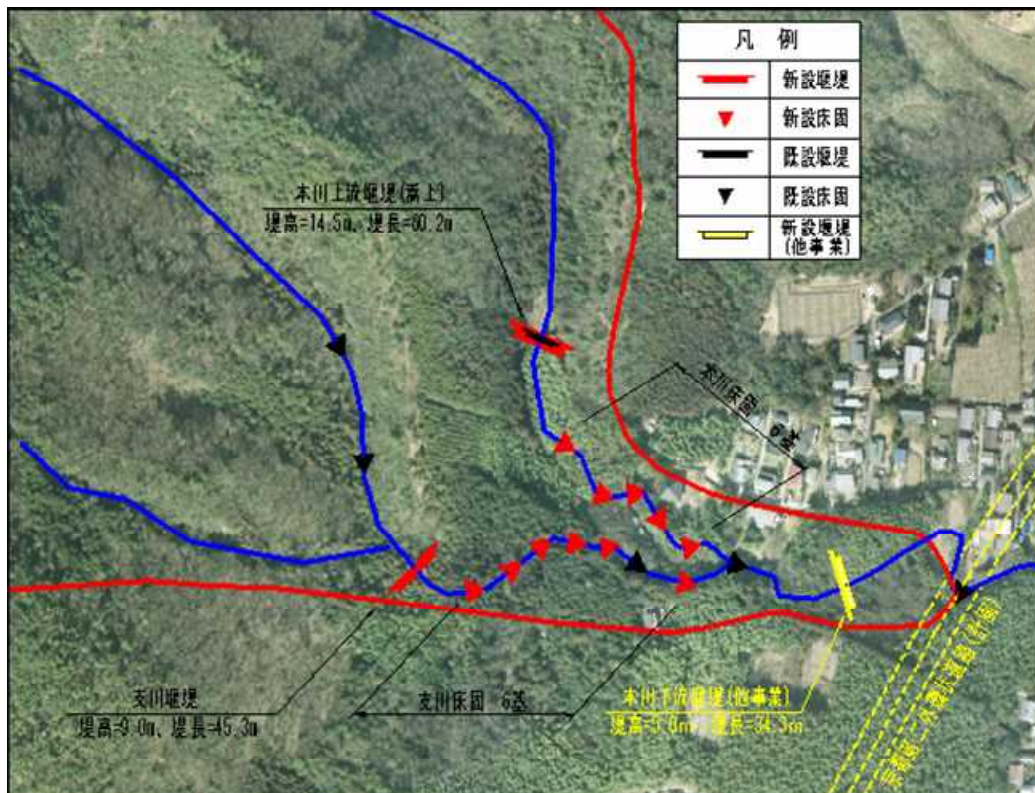
川相地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	北川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府												
実施箇所	京都府京都市西京区大原野北春日町																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、床固工11基																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	5.5																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合、多数の人家、高速道路(京都第二外環状道路)や府道10号に影響を与える恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、京都第二外環状道路、府道10号などの交通網及び住宅地への直接的な土石流被害を防止する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	保全人家戸数: 139戸 重要公共施設2(京都第二外環状道路、府道10号)																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	117	C:総費用(億円)	11	B/C 10.9 B-C 106 EIRR (%) 51.01%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>10.0</td> <td>~ 12.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>10.8</td> <td>~ 10.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.3</td> <td>~ 11.5</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	10.0	~ 12.0	残工期(+10%~-10%)	10.8	~ 10.9	資産(-10%~+10%)	10.3	~ 11.5
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	10.0	~ 12.0															
残工期(+10%~-10%)	10.8	~ 10.9															
資産(-10%~+10%)	10.3	~ 11.5															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家139戸、京都第二外環状道路、府道10号が保全される。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

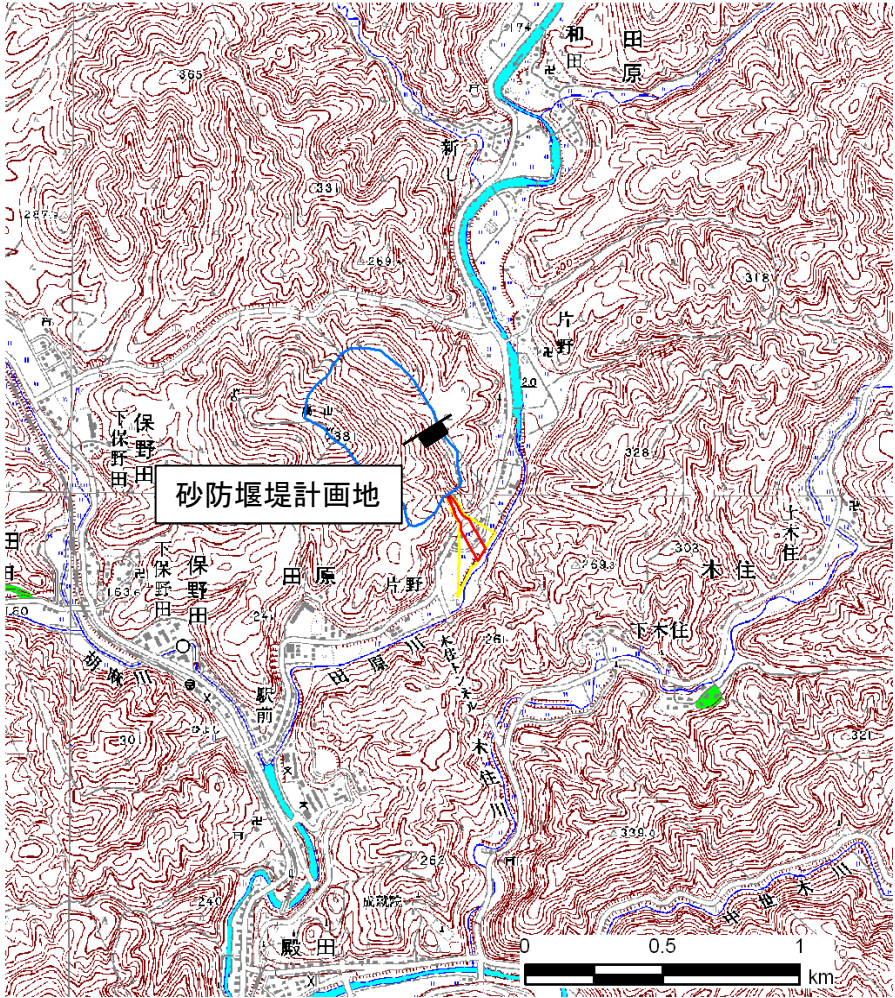
北川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大町谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府																	
実施箇所	京都府南丹市日吉町田原																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	2																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合、集落、府道19号や避難所などの施設に影響を与える恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <p>降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や府道19号などの交通網への直接的な土石流被害を防止する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	保全人家戸数: 6戸 重要公共施設2(府道19号、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所: 集会所																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	8.0	C:総費用(億円)		2.3	B/C	3.5	B-C	5.7	EIRR (%)	17.77%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.8	残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.8																					
残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5																					
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.7																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家6戸、避難所、府道19号が保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

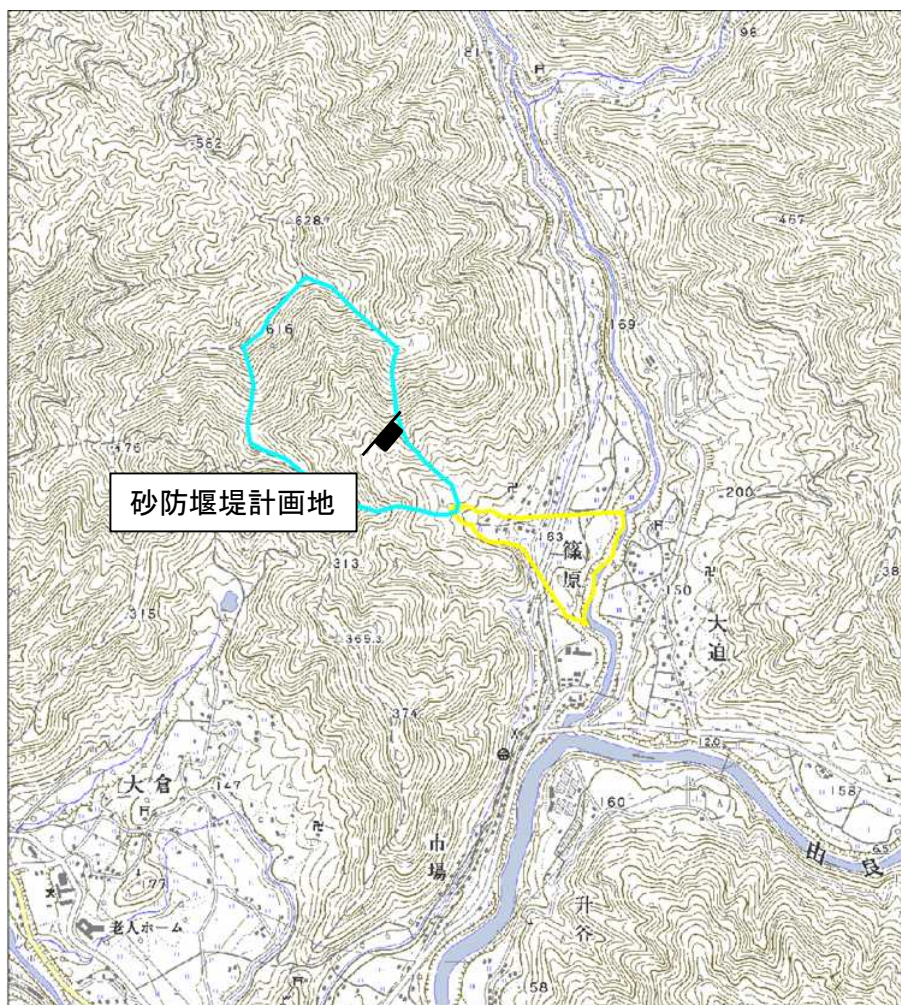
大町谷川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	篠原西一谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府																	
実施箇所	京都府船井郡京丹波町篠原																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	3																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合、集落、府道51号や避難所などの施設に影響を与える恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <p>降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や府道51号などの交通網への直接的な被害・防止を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	保全人家戸数: 8戸 重要公共施設2(府道51号、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所: 公民館																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)		3.0	B/C	3.5	B-C	7.7	EIRR (%)	17.60%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 4.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 4.4	残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.6	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 4.4																					
残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.6																					
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.8																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家8戸、避難所、府道51号が保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

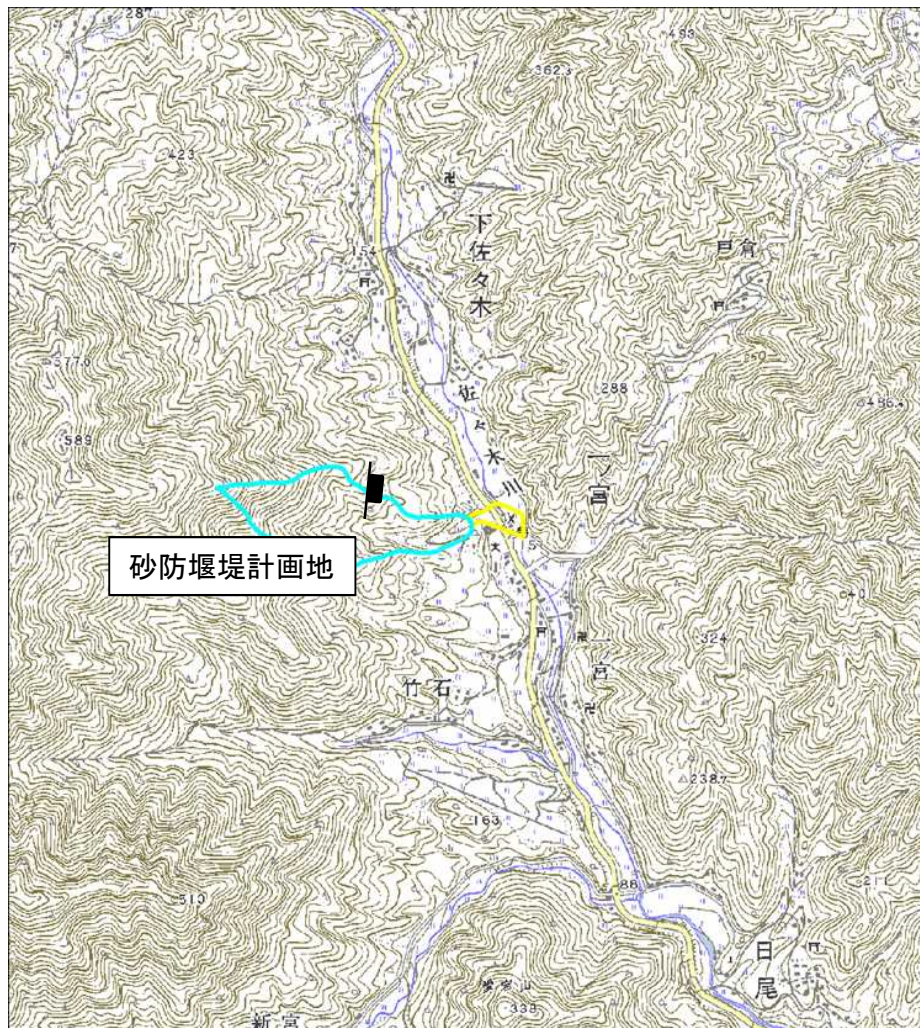
篠原西一谷川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上北谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府												
実施箇所	京都府福知山市一ノ宮																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	2																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合、国道426号、診療所、郵便局、駐在所、集会所及び避難所(小学校体育館)に影響を与える恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や国道426号などの交通網への直接的な被害・防止を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	重要公共施設5(診療所、郵便局、駐在所、集会所、国道426号) 地域防災計画に位置づけられた避難所: 小学校体育館																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	21	C:総費用(億円)	2.3	B/C 9.1 B-C 19 EIRR (%) 48.49%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 10.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.1</td> <td>~ 11.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.4</td> <td>~ 10.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10.1	残工期(+10%~-10%)	9.1	~ 11.2	資産(-10%~+10%)	8.4	~ 10.0
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10.1															
残工期(+10%~-10%)	9.1	~ 11.2															
資産(-10%~+10%)	8.4	~ 10.0															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害から診療所、郵便局、駐在所、集会所、国道426号、避難所が保全される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

上北谷川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	草生川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府												
実施箇所	京都府京都市左京区大原草生町																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤1基、副堤1基、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	3.0																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・土石流が発生した場合、集落や府道108号、市道に影響を与える恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> 降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や府道108号、市道などの交通網への直接的な被害・防止を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主 な根拠	保全人家戸数: 38戸 重要公共施設2(府道108号、市道)																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	47	C:総費用(億円)	3.5	B/C 13.3 B-C 43 EIRR (%) 60.93%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.1</td> <td>~ 14.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.3</td> <td>~ 13.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.9</td> <td>~ 13.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.1	~ 14.8	残工期(+10%~-10%)	13.3	~ 13.4	資産(-10%~+10%)	12.9	~ 13.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	12.1	~ 14.8															
残工期(+10%~-10%)	13.3	~ 13.4															
資産(-10%~+10%)	12.9	~ 13.8															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家38戸、府道108号、市道が保全される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

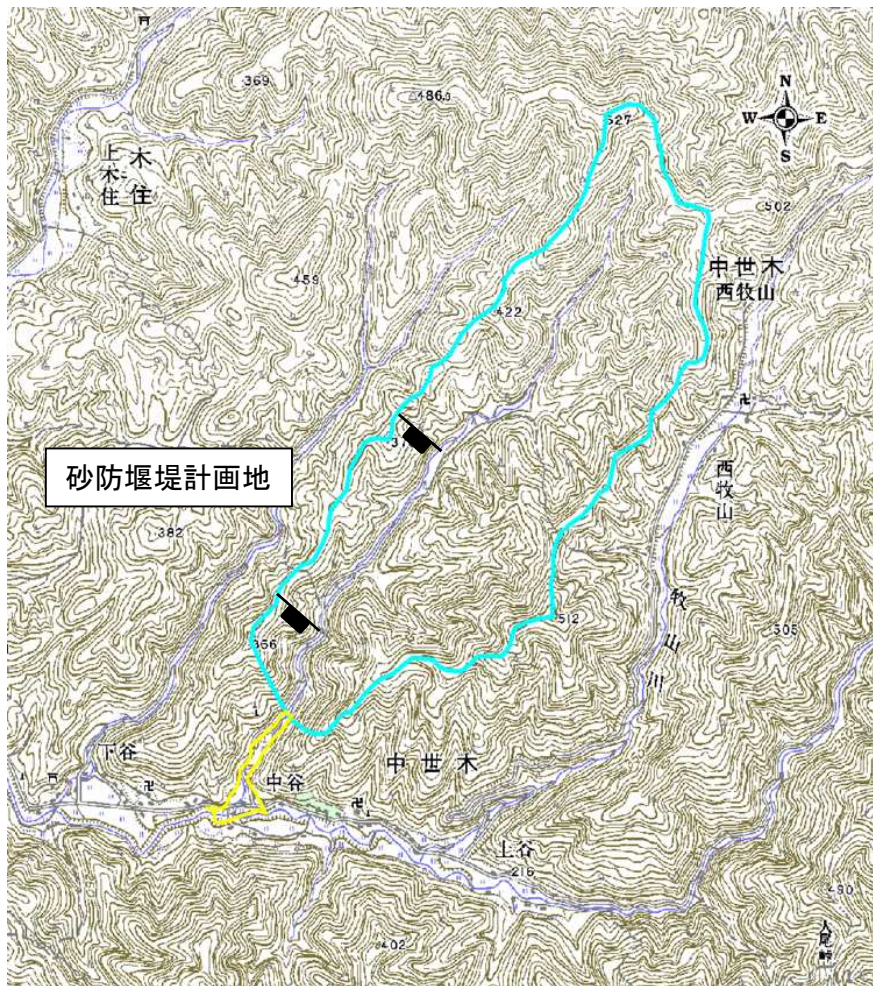
草生川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府																	
実施箇所	京都府南丹市日吉町中世木																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	4.0																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・土石流が発生した場合、集落や府道364号、避難所などの施設に影響を与える恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> 降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や府道364号などの交通網への直接的な被害・防止を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	保全人家戸数: 5戸 重要公共施設1(府道364号) 地域防災計画に位置づけられた避難所: 避難所																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	9.5	C:総費用(億円)		4.4	B/C	2.2	B-C	5.1	EIRR (%)	10.38%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4																					
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																					
資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.3																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家5戸、府道364号、避難所が保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

谷山川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	シシ伏川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府																
実施箇所	京都府京丹後市丹後町間人																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤2基、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・土石流が発生した場合、集落や府道672号、市道に影響を与える恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> 降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、住宅地や府道672号、市道への直接的な被害・防止を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主な 根拠	保全人家戸数: 11戸 重要公共施設2(府道672号、市道)																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	5.0	C:総費用(億円)	1.8	B/C	2.7	B-C	3.2	EIRR (%)	14.11%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0																				
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7																				
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.8																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害から人家11戸、府道672号、市道が保全される。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

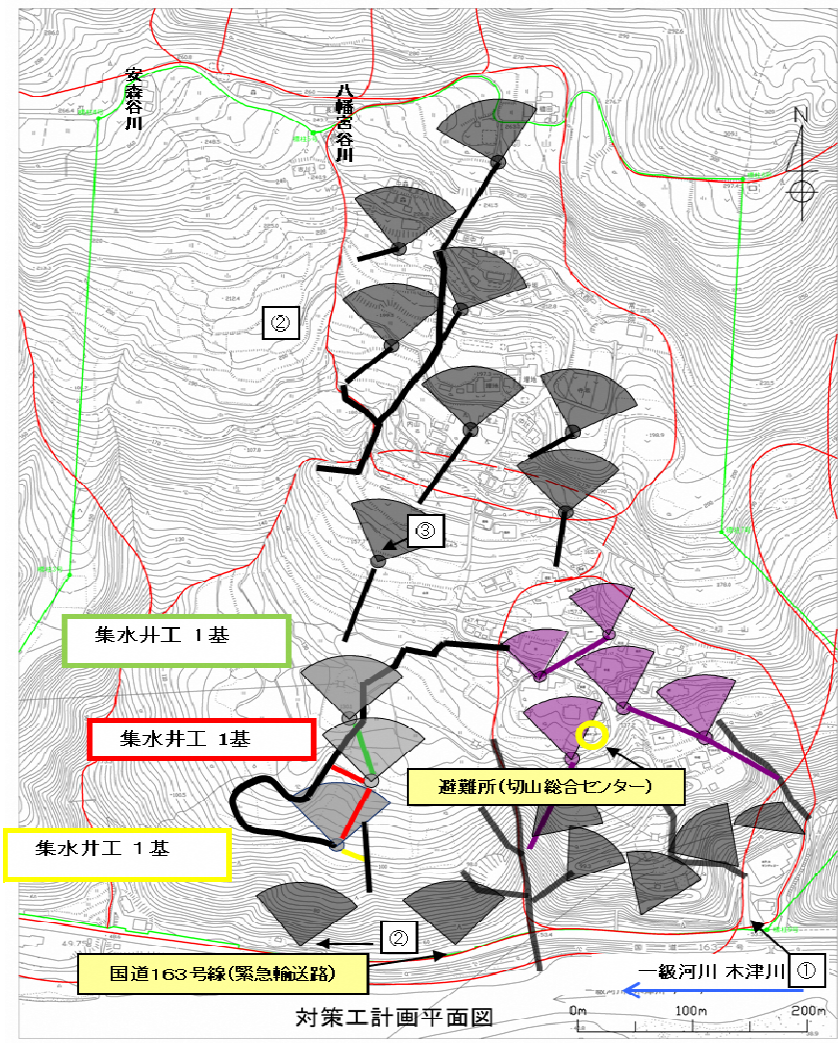
シシ伏川事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	切山事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府																	
実施箇所	京都府相楽郡笠置町切山																						
主な事業 の諸元	主要施設:集水井11基、集水横ポーリング7基																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	2.5																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・切山地区は地すべりの兆候が部分的にあり、地すべりが発生した場合は多数の人家や国道163号、市道への被害が懸念されている。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、切山地区の集落及び国道163号、市道の保全を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	保全人家戸数:36戸 重要公共施設2(国道163号、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所:公民館																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)		3.3	B/C	3.7	B-C	8.8	EIRR (%)	13.74%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 4.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 3.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.3	~ 4.1	残工期(+10%~-10%)	3.6	~ 3.7	資産(-10%~+10%)	3.5	~ 3.9
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.3	~ 4.1																					
残工期(+10%~-10%)	3.6	~ 3.7																					
資産(-10%~+10%)	3.5	~ 3.9																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 地すべり被害から人家36戸、国道163号、市道が保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

切山事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	長江事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	京都府												
実施箇所	京都府宮津市長江																
主な事業 の諸元	主要施設:集水ボーリング4群、法枠工3,800m ² 他																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	3																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>・長江地区は平成25年の地すべり災害が発生し、その周辺のブロックにおいても地すべりの兆候がある。地すべりが発生した場合は多数の人家や国道178号、市道への被害が懸念されている。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、長江地区の集落及び国道178号、市道の保全を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <p>・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主な根拠	保全人家戸数:20戸 重要公共施設2(国道178号、市道)																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益(億円)	25	C:総費用(億円)	10	B/C 2.5 B-C 15 EIRR (%) 11.05%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.6</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.5	資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.6
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8															
残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.5															
資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.6															
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 地すべり被害から人家20戸、国道178号、市道が保全される。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

長江事業間連携砂防等事業位置図

